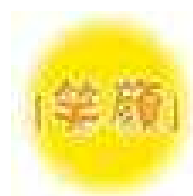
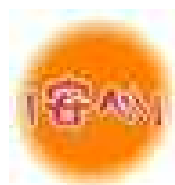


令和3年度 社会福祉法人豊田市育成会

事業報告書

<令和3年4月1日~令和4年3月31日>



【目次】

社会福祉法人 豊田市育成会	-----	1
ジョイナスつかさ	-----	19
ジョイナスさかえ	-----	24
ジョイナスふれあい	-----	27
ジョイナスみさと	-----	30
ジョイナスふれあい 鞍ヶ池公園	-----	33
ジョイナスえかく	-----	36
ジョイナスかずえ	-----	39
ジョイナスたかおか 生活介護	-----	42
ジョイナスたかおか	-----	45
地域生活支援センター	-----	50
ヘルパーステーション	-----	52
ひらしばの家	-----	54

社会福祉法人豊田市育成会

令和3年度事業報告書

【要旨】

新型コロナ対応に備え新しい生活様式で迎えた令和3年度は、社会福祉法人設立10年間の実績を引継ぎ、国連の持続可能な開発目標SDGs(Sustainable Development Goals)も意識した取り組みを進めると共に、組織のガバナンスやコンプライアンスを大事にししながら、感染症や自然災害へのリスク管理や「誰もが笑顔になる支援」に努めてきました。

特に、マネージメントサイクルを生かした目標管理制度や人事考課による評価制度、そして5S活動の実践やサービスガイドライン(サービスの品質保証指針)の達成率向上等組織の生産性を高め、職員の「なりたい、やってみたい」を応援してきました。

第1の福祉サービス事業(事業体)では、新型コロナウイルス感染症対策の徹底と感染拡大防止にPCR検査の実施や抗原検査キットの配布等、速やかに感染が確認できる体制を確保して感染防止に全力で取り組んでまいりました。また、虐待防止委員会の機能充実と各事業所に虐待防止の責任者を配置し、虐待防止体制の強化を図りながら利用者会議を通して、本人の希望を尊重し利用者さんの「やってみたい!」を応援しました。

また、毘森公園及び西山公園は従たる事業所を廃止して施設外就労とし、定員規模の適正化を図り、障害福祉サービス等事業収入の増収に繋げました。

グループホーム「ひらしばの家」では体験入居を開始し、4名の体験利用があり、その内1名の入居がありました。

ヘルパーステーションでは、コロナ下の外出自粛によりサービス利用を控える中、利用者ニーズに応え昨年と同じく施設内でのグループ支援を導入し、利用者のストレス解消につなげ、サービス提供量は前年の3割増しになりました。

地域生活支援センター(特定相談支援事業所)でのサービス等利用計画策定でも、コロナ下の制約の中で相談支援専門員や他事業所と綿密な連携により125件の計画策定及びモニタリング128回を実施し、家庭訪問や三者面談を十分な形で行うことができない環境での福祉サービスの利用調整を適切に行いました。

ジョイナスの作業売上は、コロナ下で自主事業や請負では苦戦しましたが各事業所それぞれの工夫により全体で売り上げを当初予算近くに伸ばして、前年度に比べ6,595千円余の増収となりました。利用者平均月額工賃は前年度に比べ2,081円の増となり、18,176円を支払うことができました。

また、ジョイナスつかさ移行支援事業では2人が就職し、事業開始以来、延べ55人(うち12人は再就職)が企業などに就職し、29人が引き続き定着しています。

第2の福祉啓発事業(運動体)でも、昨年同様に新型コロナウイルス感染拡大防止に伴うイベント等の中止を決断せざるを得ない状況になりました。

支部活動では、会員総会は中止しましたが新成人のつどい(参加者40人)を開催することが

できました。十分な感染防止対策をして来賓を控え、厳粛な中、式典を滞りなく終了することができました。各支部の単独行事は5支部で5回(延べ51人)開催されました。広報自主事業部会レクリエーション委員会が担当するバス旅行は引き続き中止。本人部会の「きずなつくす」「フライングディスク」は活動を縮小し、「音楽療法」「POP'S」「ありのまま合唱団」は休部。各種講座は中止しました。

また、経営会議では、10年間の福祉啓発活動を振り返り、会員が活動可能な範囲と今後の会員活動の在り方を検討すると共に育成会の役員・委員・支部長等の負担の軽減を図りました。

第3の法人基盤の確立と課題克服での人材育成及び就業意欲の向上では、福祉分野での職員の採用が難しい状況の中、2人の中途職員を採用しました。また、豊田市育成会人材育成(キャリアパス)規程による目標管理制度の徹底と人事考課を実施しました。研修体系を充実し、法人内外での各種研修への積極的な参加で職員全員参加の研修を定期的に年6回開催すると共に外部の専門研修に延べ47人が参加し専門知識の習得に心掛けました。また、ICTを活用したりリモートによる会議を積極的に実施しました。職員のメンタルヘルスでは、臨床心理士によるメンタルヘルスカウンセリングを今年も実施し、正職員と特別任用職員19人が活用しました。職員の処遇面では、厳しい社会情勢の中、賞与の減額をせず職員の就業意欲の向上と生活の安定を図ると共に関係規程等の整備と就業システムの導入による運用を通して職員のワークライフバランスの向上や労務の効率化を図りました。

次に事業所運営では、ジョイナスでのクラブ活動、本人活動を通じた利用者中心の行事の開催、職員による事業計画策定部会での重点項目の進捗度把握や事業計画づくり、個別支援計画等策定部会でのサービスガイドラインの継続検証による支援統一を図りました。また、事業所の地域展開活動としては、コロナ下で地域との交流は十分できませんでしたが、広報誌「育成会だより」の年3回発行(3,500部/1回)やジョイナス通信、会員だよりの発行、SNS更新、ホームページ・ブログ更新等を通してアクセス数の増加につなげると共に、地域清掃活動や交通安全立哨活動など社会貢献活動等を実施しました。

最後に、新しい生活様式で迎えた中、収支決算の黒字化は引き続き維持できました。しかし、光熱水費の高騰や前年度に比して利用者の減少及び職員処遇改善による人件費比率の上昇が考えられます。

今後は、一層の経費の節減やデジタルトランスフォーメーション(DX)の更なる推進並びに利用者満足度を図る居場所づくりが急務となっています。

こうした年間の事業実施に際しまして、正会員、賛助会員をはじめ幅広い皆様からの温かいご支援、ご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

1 理事会・評議員会の開催及び監査の実施

(1) 理事会の開催

第1回 5月29日(土) ※書面決議	議案第1号	理事・監事の推薦及び監事の同意について
	議案第2号	評議員選任・解任委員の選任について
	議案第3号	評議員候補者の推薦について
	議案第4号	令和2年度事業報告について
	議案第5号	令和2年度決算(計算書類及び財産目録)報告及び監査報告について
	議案第6号	社会福祉充実計画について
	議案第7号	定時評議員会の書面決議の実施について
第2回 6月19日(土)	議案第8号	理事長及び常務理事の選定について
	議案第9号	部会長等の選定について
	議案第10号	評議員会の招集について
第3回 9月25日(土) ※書面決議	議案第11号	経理規程細則の一部改正について
	議案第12号	令和3年度9月補正予算について
	議案第13号	評議員会の招集の変更について
	議案第14号	評議員会の招集について
第4回 12月25日(土)	議案第15号	令和3年度12月補正予算について
	議案第16号	評議員会の招集について
	報告事項(1)事業活動報告(9月~11月)について 報告事項(2)各部会及び外部会議等の活動報告について	
第5回 3月26日(土)	議案第17号	ジョイナス事業等の運営規程の一部改正について
	議案第18号	育児・介護休業等に関する規程の一部改正について
	議案第19号	経理規程の一部改正について
	議案第20号	令和4年度事業計画について
	議案第21号	令和4年度当初予算について
	報告事項(1)令和4年度職員体制について 報告事項(2)事業活動報告(12月~2月)について 報告事項(3)各部会及び外部会議等の活動報告について	

(2) 評議員会の開催

定時(第1回) 6月19日(土) ※書面決議	議案第1号	理事・監事の選任について
	議案第2号	令和2年度事業報告について
	議案第3号	令和2年度決算(計算書類及び財産目録)報告及び監査報告について
	議案第4号	社会福祉充実計画について
第2回 10月5日(火) ※書面決議	議案第5号	経理規程細則の一部改正について
	議案第6号	令和3年度9月補正予算について
第3回	議案第7号	令和3年度12月補正予算について

12月25日(土)	報告事項(1)事業活動報告(9月～11月)について	
第4回 3月26日(土)	議案第8号	ジョイナス事業等の運営規程の一部改正について
	議案第9号	育児・介護休業等に関する規程の一部改正について
	議案第10号	経理規程の一部改正について
	議案第11号	令和4年度事業計画について
	議案第12号	令和4年度当初予算について
	報告事項(1)令和4年度職員体制について 報告事項(2)事業活動報告(12月～2月)について	

(3) 評議員選任・解任委員会の開催

第1回評議員選任・ 解任委員会 6月4日(金)	議案第1号	評議員の選任について
-------------------------------	-------	------------

(4) 監査の実施

監査実施日	監事名	監査項目
5月12日(水)	森島監事 中田監事	法人定款第11条第1項の規定に基づき、令和2年度事業に係る理事の業務執行状況及び法人の財産状況の監査
12月9日(木)	市福祉部 総務監査課 職員	指定障がい福祉サービス事業者の実施指導 (たかおか・地域生活支援センター)

2 会員総会

会員総会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

3 事業運営

事業種別\期間	令和3年4月～令和4年3月
法人運営(経営会議)	経営会議開催(年6回)、福祉啓発事業の見直し、法人運営の課題等
第2種社会福祉事業	①障害福祉サービス事業(就労移行支援)の運営(定員6名) ②障害福祉サービス事業(就労継続支援B型)の運営(定員120名) ③障害福祉サービス事業(生活介護)の運営(定員6名) ④障害福祉サービス事業(居宅介護、移動支援)の運営 ⑤障害福祉サービス事業(特定相談支援、障がい児相談支援)の運営 ⑥障害福祉サービス事業(共同生活援助)の運営(定員6名)
公益事業	①福祉啓発事業 ②相談事業

4 会員入会状況

支部別（実家庭）

（令和4年3月末現在・単位：世帯）

支部名	中央	上郷	高岡	猿投	高橋	計
世帯数	52	28	15	31	44	170

5 人事労務・給与制度等

人事労務管理	<ul style="list-style-type: none"> ・目標管理の徹底と人事考課制度の推進 ・職員の適切な労働時間の管理と人事労務の効率化を図るため、就業システムの運用開始
給与制度	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉・介護職員処遇改善加算の確保に伴う賃金改善の実施
職員福利厚生	<ul style="list-style-type: none"> ・職員に対する定期健康診断の実施 ・正規・特別任用職員対象にメンタルヘルスカウンセリングの実施/19名 ・職員互助会活動の推進 ・福利厚生センター「ソウェルクラブ」へ継続加入 ・インフルエンザワクチンの職場接種 ・新型コロナウイルス感染者の早期発見及びクラスターを抑止する為、職員全員にPCR定期検査の実施/549件 ・体調に違和感がある時など、速やかに検査を実施できるよう新型コロナウイルス感染症対応抗原検査キットの配布

6 財務・事務管理

情報公開	<ol style="list-style-type: none"> ①現況報告書(令和3年4月1日現在)をホームページに公表 ②法人フェイスブックや各事業所「新着情報」の書き込みを増やすなど、ホームページによる情報提供を充実した。アクセス数 15,753 件(令和3年度中) ③広報誌「育成会だより」を年3回(7月・11月・3月の各1回)発行発行部数 3,500 部 ④「会員だより」を毎月発行 ⑤各事業所でパンフレットの作成や「事業所だより」の発行及びインスタグラムの開設(つかさ・ふれあい・えかく・Café Mikke)
個人情報保護と共有	<ol style="list-style-type: none"> ①個人情報保護規程に基づき、利用者等関係者の個人情報保護に努め、利用者のサービス向上に必要な情報を本人や家族の同意を得て関係者間で共有した。 ②個人番号および特定個人情報等を規程に基づき適正に管理した。
苦情対応	<p>苦情対応規程に基づき各事業所に苦情受付担当者及び責任者を配置した。</p>
業務の効率化 コスト削減	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策の一環としてリモート会議を推進し、移動に伴う経費節減及び感染防止と業務の効率化に努めた。 ・光熱水費をはじめ、法人の全業務について見直し業務の効率化・コスト削減に努めた。
契約の公正・透明性の確保	<p>経理規程に基づき、契約事務を適切かつ効率的に取り組んだ。</p>
事務管理の適正化	<ol style="list-style-type: none"> ①パソコン充足率 100%により事務の均一化に努めた。 ②個別支援計画関係書類の様式を見直し改訂した。

寄付・寄贈	<ul style="list-style-type: none"> ・小栗かず子様より 20,000 円 ・JA あいち豊田桃部会様より桃(4,000 円相当) ・JA あいち豊田梨部会様より豊水梨(20,000 円相当) ・一般社団法人あゆみの箱様より空気清浄機 2 台(120,000 円相当) ・大豊工業(株)部長会様より新成人用カタログギフト(16,000 円相当) ・トヨタ車体(株)様より不織布マスク 3,000 枚(26,220 円相当)
-------	---

7 施設設備管理業務

(1) 管理業務

施設設備の保守点検委託業務	<ul style="list-style-type: none"> ①つかさエレベーター (リモート点検毎月、技術員点検 2 回、法定検査 2 回) ②防災設備 (法定点検 2 回) ③空調設備 (法定点検 4 回) ④電気設備 (法定点検 6 回) ⑤建物定期点検 ⑥えかく浄化槽 (保守点検 3 回) ⑦えかく消火器点検(1 回) ⑧かずえ高架水槽清掃 (1 月/年 1 回)、水質検査 (8 月・2 月/年 2 回) ⑨かずえ自動ドア点検(年 4 回) ⑩かずえ防鼠防虫業務月 1 回 (計 12 回)
施設設備の管理業務	<ul style="list-style-type: none"> ①床ワックスがけ(つかさ/年 1 回、かずえ/年 1 回) ②樹木の剪定、除草(つかさ、えかく、たかおか/年 1 回～3 回) ③ごみ・廃棄物処理 (ごみ回収各施設毎週 1 回・産廃回収年 2 回) ④棟内日常清掃

(2) 施設整備

施設設備の整備	<ul style="list-style-type: none"> ①つかさ 1 階洗面、食堂水栓修繕 ②つかさ玄関看板取り替え ③つかさ 2 階活動室天井漏水修繕 ④さかえ網戸取り付け ⑤さかえ多目的トイレ手洗い水道蛇口修理 ⑥さかえ 2 階男性用トイレ小便器排水目皿取替 ⑦みさと屋根工事(猫侵入対策) ⑧みさと玄関工事(雨漏り防止対策) ⑨えかくシャッター修理(2 か所) ⑩えかく作業室改修(作業室、事務室の区切り) ⑪えかくフェンス追加工事 ⑫えかく盗難被害による故障箇所修理 (作業室出入口鍵、多目的トイレ鍵) ⑬かずえ黒板修繕 ⑭たかおか(生活介護)食堂室の鍵取付 ⑮たかおか電機設備工事、外灯自動点滅器修繕 ⑯たかおか(生活介護)活動室 2 か所網戸設置 ⑰たかおか照明器具(蛍光灯安定器)交換 ⑱ひらしばの家入居者退去後居室クリーニング
---------	--

8 職員配置状況

(R3年4月現在・単位：人)

項目		本部		就労移行支援		就労継続支援B型		生活介護		共同生活援助		相談支援		居宅介護(移動)		福祉啓発	計	
施設長	常勤	1															1	-
事務局長	常勤		(1兼)														0	(1兼)
管理者	常勤			(1兼)	5			(1兼)		(1兼)		(1兼)		(1兼)		1	6	(5兼)
副管理者	常勤	1		(1兼)													1	(1兼)
サービス管理責任者	常勤			(1兼)	2	(3兼)		(1兼)		(1兼)							2	(6兼)
主任	常勤	2		(1兼)	3	(1兼)											5	(2兼)
相談支援専門員	常勤											1	(4兼)				1	(4兼)
サービス提供責任者	常勤													1	(1兼)		1	(1兼)
相談支援員	常勤												(2兼)				0	(2兼)
事務員	常勤	3													(1兼)		3	(1兼)
	臨時	1													(1兼)		1	(1兼)
支援員	常勤			2	25	(1兼)	1										28	(1兼)
	臨時			3	13	(1兼)				(3兼)							16	(4兼)
世話人	臨時								6								6	-
ヘルパー	常勤														(1兼)		0	(1兼)
	臨時												4				4	-
調理員	臨時				2												2	-
嘱託医	臨時						1										1	-
看護師	臨時						1										1	-
常勤計		7	(1兼)	2	(4兼)	35	(5兼)	1	(2兼)	0	(5兼)	1	(7兼)	1	(5兼)	1	48	(29兼)
臨時計		1		3		15	(1兼)	2		6	(3兼)	0		4		0	31	
合計		8	(1兼)	5	(4兼)	50	(6兼)	3	(2兼)	6	(8兼)	1	(7兼)	5	(5兼)	1	79	(29兼)

9 職員研修

(1) 法人内研修

研修内容	開催日	講師
令和3年度障害福祉サービス等報酬改定の概要ほか	4月23日(金)	事務局員
階層別：管理者・主任対象 リーダーとしての基本姿勢	6月25日(金)	社会保険労務士 近藤 法政 氏
工賃向上対策について ～上半期レビュー～	10月29日(金)	育成会職員 (SELP部会：目標工賃達成指導員)
サービスガイドラインについて	1月28日(金)	育成会職員 (個別支援計画等策定部会)
令和4年度事業計画について	2月25日(金)	育成会職員 (事業計画策定部会)
令和4年度新規採用職員研修	3月30日(水) 3月31日(木)	育成会職員(施設長他)

(2) 法人外研修・行政説明会への参加

研修内容		開催日	主催者	参加人数
サービス管理責任者基礎研修	部分・全体講義 (オンデマンド動画視聴)	8月2日(月)～ 8月31日(火)	愛知県	2名
	演習	9月13日(月) 9月14日(火)		
サービス管理責任者実践研修	講義 (オンデマンド動画視聴)	11月19日(金)～ 12月20日(月)	愛知県	4名
	演習	12月21日(火) 12月22日(水)		
		2月2日(水) 2月3日(木)		
		2月8日(火) 2月9日(水)		
相談支援従事者研修 (現任研修)	合同講義 (オンデマンド動画視聴)	5月21日(金)～ 6月14日(月)	愛知県	2名
	演習	6月16日(水) 7月14日(水) 8月11日(水)		
相談支援従事者研修 (初任者研修)	合同講義 (オンデマンド動画視聴)	8月2日(月)～ 8月25日(水)	愛知県	1名
	演習	9月8日(水) 9月9日(木) 10月14日(水) 11月16日(火) 11月17日(水)		
福祉職員キャリアパス対応生涯研修	管理職過程	8月4日(水) 8月5日(木)	県社協	1名
	チームリーダー過程	9月16日(木) 9月17日(金)		1名
	初任者過程	10月26日(火) 10月27日(水)		3名
サポート連絡会(中部)		4月22日(水) より他6回	市地域自立支援協議会	3名
サポート連絡会(北部)		4月22日(水) より他12回	市地域自立支援協議会	2名
サポート連絡会(南部)		4月22日(水)	市地域自立支援協議会	1名

豊田市食品衛生協会 会計監査	4月13日(水)	豊田市食品衛生協会	1名
中小企業のためのSDGs	4月14日(木)	豊田市女性しごとテラス	1名
豊田市食品衛生協会 三役会、理事・班長会	4月20日(火)	豊田市食品衛生協会	1名
強度行動障がいの基礎知識	6月23日(水)	豊田市福祉事業団	3名
高齢者虐待・障がい者虐待対応合同研修	7月5日(月) 8月23日(月)	豊田市	3名
豊田市食品衛生指導員会全体会議	7月13日(火) 10月19日(火)	豊田市食品衛生協会	1名
SST ソーシャルスキルトレーニング	7月21日(水)	豊田市福祉事業団	3名
障害福祉サービス事業所施設職員口腔ケア 研修会	9月2日(木)	愛知県歯科医師会	1名
食品衛生責任者養成講習会	9月8日(水)	豊田市	1名
行動障がいの支援のアイデア	9月15日(水)	豊田市福祉事業団	6名
豊田市食品衛生協会理事会・班長会	10月12日(火)	豊田市食品衛生協会	1名
令和3年度第1回福祉・介護の職場環境改善 研修	オンライン視聴 ~10月20日 (水)	県社協	6名
工賃向上スキルアップ研修	10月20日(水)	愛知県	2名
感染症全般の知識と対策	10月27日(水)	豊田市福祉事業団	2名
西三河北部障がい者就業・生活支援センタ ー連絡会議	11月15日(月)	西三河北部障がい者就 労・生活支援センター	1名
働きやすい職場づくりのためのアンガーク ントロール研修	11月17日(水)	福利厚生センター	1名
豊田市強度行動障がい者支援者養成研修	11月18日(木)	豊田市福祉事業団	2名
愛知県食品衛生協会西三河ブロック合同会 議	11月24日(水)	愛知県食品衛生協会	1名
愛知県障害者虐待防止・権利擁護研修	12月6日(月) 1月31日(月)	県社協	2名

令和 3 年度愛知県社協社会就労センター部 会研修会	12月20日(月)	県社協	1名
一緒に学ぼう性の健康講座	1月10日(月)	自立生活センター十彩	2名
令和 3 年度社会福祉事業者による苦情解決 制度受付担当者研修会	2月28日(月)	県社協	3名
令和 3 年度障害者の就労支援基礎研修 (自己学習・課題提出)	3月1日(火)	県社協	2名

10 諸会議の開催

会議名(委員数)	主催者	開催月
就労支援施設等運営委員会(22名)	施設長	新型コロナウイルス感染防止の ため中止
ヘルパー会議(8名)	管理者	同上
管理者会(16名)	施設長	毎月第1水曜日(ZOOM)
個別支援計画等策定部会(8名)	//	毎月第2火曜日(//)
行事計画部会(10名)	//	毎月第1火曜日(//)
事業計画策定部会(12名)	//	毎月第3火曜日(//)
SELP(セルフ)部会(7名)	//	毎月第2金曜日(//)
保健安全会(7名)	事務局長	毎月第4火曜日(//)
WEB(IT)委員会(6名)	事務局長	毎月第3木曜日(//)
職員互助会役員会(6名)	//	毎月第3金曜日(//)
職員会議	各管理者	各事業所月1~2回

11 事故等報告件数

件数	項目別	報告内容
7	利用者に関する事	4.26作業中のケガ、6.1行方不明(通所前)、9.11作業中のケガ、 9.22行方不明(通所前)、1.13作業中の体調不良(緊急搬送)、 2.3作業中のケガ3.25作業中の体調不良(緊急搬送)
1	支援員に関する事	5.7作業中のケガ
1	その他	10.14 事業所内盗難

12 苦情内容及び結果の公表(苦情対応規程に該当するもの)

該当なし。

13 社会貢献活動

活動名	活動時期	活動内容
地域の清掃活動	通年	事業所周辺で活動(各ジョイナス・ひらしばの家)

交通安全立哨活動	交通安全週間	事業所周辺で活動(各ジョイナス・ひらしばの家)
資源回収	通年	ジョイナスたかおかにおいて、アルミ缶・新聞紙・段ボール・牛乳パック・古布・雑誌を回収
エコキャップの回収	通年	ジョイナスたかおかにおいて、ペットボトルキャップを回収しポリオワクチン支援活動に寄附 (年2回納入:累計ポリオワクチン931人分/R4年3月末時点)

14 福祉啓発事業

(1) 事業内容

内容		日時	場所	参加者数
支部長会	新成人のつどい	1月16日(日)	西部コミュニティセンター	40名
本人活動	市障がい者作品展	12月3日(金) ~12月12日(日)	豊田市美術館	出展作品10点
支部活動	各支部活動(5支部)	5回/年 (懇親会、イベント他)		延参加者51名

(2) 諸会議・クラブ開催

会議名		委員数	開催回数 (開催日)	内容
本人部会		8名	1回	クラブ活動、障がい者作品展等に関する話し合い
企画委員会		4名	2回	コロナ下における会員研修会及び委員会活動について
広報委員会		8名	9回	育成会だより第40号~第42号の発行 (企画・調査、編集、印刷、配布)
レクリエーション委員会		10名	4回	コロナ下における今後の活動検討 「小さな写真展」に関する話し合い
支部長会		12名	5回	各支部活動報告、新成人のつどい等行事に関する話し合い
本人活動	フライングディスク	6名	第1・3土曜	県大会への出場、定期練習他
	きずなつくす	6名	4回	体操・ゲームなど親子で楽しめる活動の実施
	POP'S	15名	0回	新型コロナウイルス感染拡大防止のため活動中止
	ありのまま合唱団	18名	0回	休部
	音楽療法「りず夢」	3名	0回	休部
外部	自立支援協議会		年2回 (書面)	第5次豊田市障がい者ライフサポートプラン(案)等について、他
	就学支援委員会		年3回	対象児童生徒等の就学に関する意見交換
	社会福祉協議会評議員会		年4回	社会福祉協議会事業計画、予算等
	福祉事業団評議員会		年4回	福祉事業団事業計画、予算等

15 日中活動支援事業（就労移行支援、就労継続支援B型、生活介護）

(1) 所在地

事業所名	住所	TEL/FAX	事業形態	営業日	休日
ジョイナスつかさ	〒471-0831 豊田市司町3-61-1	☎ 77-0041 FAX 77-0506	就労移行支援 就労継続支援B型	月曜日～金曜日 8:30～17:15	土日祝日 年末年始他
ジョイナスさかえ	〒471-0066 豊田市栄町1-1	33-8825 (FAX共有) 090-4258- 9572 (西山公園)	就労継続支援B型	月曜日～土曜日 8:30～17:15	日祝日 年末年始他
ジョイナスふれあい	〒471-0027 豊田市喜多町6-61-1	35-6084 (FAX共有)	就労継続支援B型	月曜日～金曜日 8:30～17:15	土日祝日 年末年始他
ジョイナスみさと	〒471-0805 豊田市美里1-10-8	77-5187 (FAX共有)		月曜日～金曜日 8:30～17:15	土日祝日 年末年始他
ジョイナスふれあい 鞍ヶ池公園	〒471-0002 豊田市矢並町法沢714-5	090-3444- 4429 (FAXなし)		月曜日～金曜日 8:30～17:15	土日祝日 年末年始他
ジョイナスえかく	〒470-1205 豊田市永覚町中山畑39	21-6141 (FAX共有)	就労継続支援B型	月曜日～金曜日 8:30～17:15	土日祝日 年末年始他
ジョイナスかずえ (cafe Mikke)	〒470-1216 豊田市和会町長田8-1	☎ 77-9504 (FAX共有)	就労継続支援B型	月曜日～金曜日 8:30～17:15	土日祝日 年末年始他
ジョイナスたかおか	〒473-0917 豊田市若林西町西山18-2	52-3410 (FAX共有) 090-5107- 2390 (毘森公園)	生活介護 就労継続支援B型	月曜日～土曜日 8:30～17:15	日祝日 年末年始他

(2) 障がい支援区分

(令和4年度3月末現在)

区分	区分無し	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
人数	52人	1人	9人	18人	34人	5人	2人

(3) 利用中止状況

(令和4年度3月末現在)

中止の理由	就職	他施設	転居	在宅	死亡	計
人数	2人	4人	1人	2人	0人	9人

(4) 定員・登録利用人数(月間平均)

(開所日数：243日)

事業所名	定員	登録利用者数	出勤率
つかさ(移行)	6	2.9名	79.4%
つかさ(継続)	26	24.8名	92.3%
さかえ	20	18.1名	88.5%
西山公園		4.0名	97.1%
ふれあい	20	21.0名	95.1%
みさと	10	10.0名	85.1%
鞍ヶ池公園	10	10.0名	97.6%
えかく	10	10.4名	87.6%
かずえ	10	8.5名	94.7%
たかおか(就B)	14	8.5名	97.8%
毘森公園		7.0名	98.1%
たかおか(生活介護)	6	3.7名	88.8%

(5) 個別支援計画の策定

- ・ サービス等利用計画に基づき、利用者、本人(保護者)の意向や希望、特性等を踏まえ個別支援計画関係書類の作成。

作成書類：アセスメントシート・令和3年度個別支援計画の評価、面談記録等
令和4年度個別支援計画

個別支援計画の策定	令和3年度個別支援計画策定(130名)
-----------	---------------------

- ・ サービス管理責任者を中心に個別支援計画等策定部会の開催、各ジョイナス事業所でのケース検討会議等を毎月実施し、支援計画のより着実な取組みを図った。

(6) 支援業務

食事

昼食形態	【食事時間】
	昼食 12:00~13:00 (喫茶事業:12:30~13:30) ○昼食は弁当方式(個人により持参または注文)

(7) 健康管理

① 医療機関との連携

診療科目	病院名
総合	豊田地域医療センター
緊急時	救急車対応

- ・ かかりつけ医の把握
- ・ 医療機関と連携した通院 なし

② 健康管理

事業所	健康診断実施日	歯科検診実施日	その他
つかさ(移行・継続)	6月28日(月)	9月30日(木)	
さかえ	6月25日(金)	11月18日(木)	
西山公園	〃	〃	
ふれあい	7月1日(木)	10月14日(木)	月一回の体重測定
みさと	〃	〃	
鞍ヶ池公園	〃	〃	
えかく	6月30日(水)	7月15日(木)	
かずえ	〃	〃	
たかおか(就B)	7月8日(木)	11月11日(木)	
たかおか(生活介護)	〃	〃	
毘森公園	6月25日(金)	11月11日(木)	

(8) 防災対策・訓練

実施項目	実施日	実施内容
避難訓練	毎月又は隔月1回	火災・地震を想定しての避難訓練

(9) 実習生・就労等体験の受け入れ

	受入学校名	実習先	実習期間	人数
実習生	三好特別支援学校	つかさ	7月28日	1
	〃	〃	3月28日	1
	〃	さかえ	7月27日～28日	1
	〃	〃	8月4日～11日	2
	〃	〃	10月25日～29日	1
	〃	〃	3月15～31日	1
	〃	ふれあい	8月16日～18日 2月28日～3月4日	1
	〃	みさと	6月21日～25日	2
	〃	〃	8月23日～25日	1
	〃	〃	3月24日～25日	1
	愛知教育大学附属特別支援学校	たかおか	12月8日～10日	1
	一般	えかく	5月17日～18日	1
	〃	〃	8月10日～12日	1
	〃	かずえ	6月7日	1
	〃	〃	6月14日～17日	1
アセスメント実習	三好特別支援学校	つかさ	10月20日～22日	1
	〃	〃	10月27日～29日	1
	〃	〃	12月8日～10日	1
職場体験	朝日ヶ丘中学校	〃	11月25日	1
見学	三好特別支援学校	えかく	8月24日	1

(10) 保護者会活動

活動名	事業所	活動時期	活動内容
保護者会	つかさ	4、5、9、11、1、3月	定例会 (行事・連絡事項の確認)
	さかえ	月1回	
	みさと	偶数月(第二金曜日)	
	鞍ヶ池公園	4、10、12月	
	えかく・かずえ	4、7、10、11、12月	
	たかおか	4、10、2月	
	毘森公園	4、10月	
役員会	ふれあい	偶数月	定例会
パレットルーム	さかえ	月4回	手作り雑貨製作
柏餅の日	さかえ	5月6日	柏餅を食べる
七夕会	つかさ	7月5日	昼食
	たかおか	7月29日	おやつ準備
昼食提供	たかおか	8月1日(毘森：9月)	昼食
忘年会	つかさ	12月13日	昼食

大掃除	つかさ	12月13日	事業所内清掃
ケーキの日	さかえ	12月17日	コーヒータイムにケーキを食べる
クリスマス会	つかさ	12月20日	昼食
	たかおか	12月20日	ケーキ、ビンゴ大会
忘年会・クリスマス会	えかく・かずえ	12月26日	食事会ビンゴ大会
鏡開き	さかえ	1月11日	お汁粉を振る舞う
	えかく・かずえ	1月11日	
	たかおか	1月12日	
成人の祝い	つかさ	1月17日	お祝い会・昼食
豆まき	つかさ	2月7日	
	たかおか	2月3日	
バレンタイン	えかく	2月14日	お菓子配布
お楽しみ会	たかおか・毘森	3月16日	弁当準備、ビンゴ大会
パレットルームお楽しみ会	さかえ	3月22日	くじ引き大会
お疲れさま会	えかく・かずえ	3月30日	食事会
布製品制作	えかく	随時	マスク

(11) 工賃向上の取組み

- ・毎月、SELP 部会(目標工賃達成指導員)を開催し、工賃向上計画 3 年の進捗状況等の情報共有・連携し、外部からの委託業務受注など安定した仕事の確保に努めた。
- ・自主製品の調査、新製品開発、商品改良に取り組んだ。
- ・コロナ下でバザー等出店は減少したが、インスタグラム等で自主製品の新規・既存販路の拡大や確保に努めた。
- ・生活介護では、作業訓練によって得た売り上げを工賃として支給した。

(12) 虐待防止の取組み

- ・サービスガイドラインの遵守
- ・権利擁護、虐待防止研修会の実施
- ・各事業所での虐待防止委員会定例会開催
- ・虐待防止セルフチェックシートによる自己点検

(13) 合同事業等

入所式／4月1日(木) 各事業所／新入所者 7 名

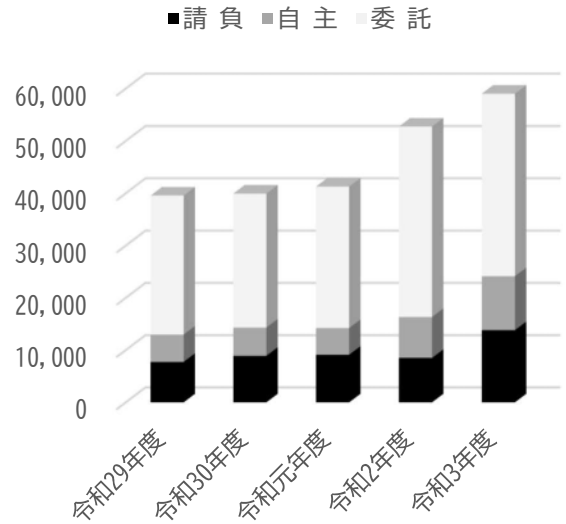
(14) 新型コロナウイルス感染症検査の実施

- ・濃厚接触者又は陽性者が発生した時は、利用者・職員全員に PCR 検査を実施し、感染のリスク低減を図った。／3 事業所

(15) 年間売上・工賃実績推移

[法人]

	令和29年度	令和30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
請負	7,744,760	8,909,008	9,120,292	8,511,758	10,353,659
自主	5,236,740	5,420,914	5,103,784	7,813,140	10,369,845
委託	26,582,908	25,615,843	27,065,268	36,409,220	38,606,058
合計	39,564,408	39,945,765	41,289,344	52,734,118	59,329,562
平均工賃	12,923	13,822	12,843	16,095	18,176



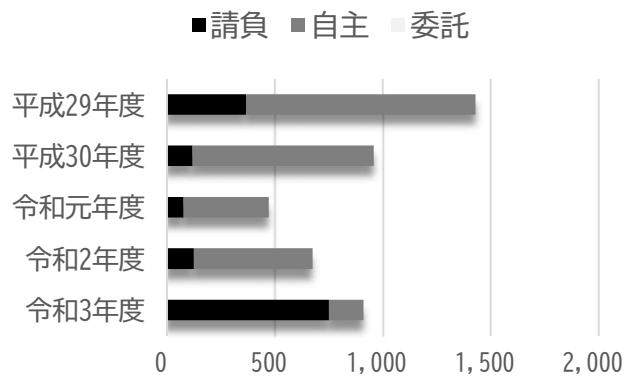
[各事業所]

<ジョイナスつかさ>

・就労移行支援

(単位：円)

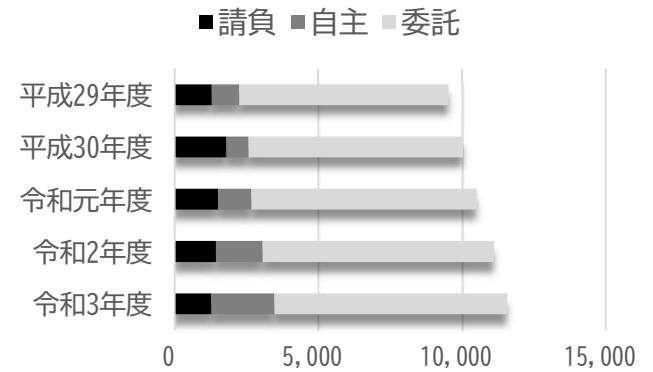
	請負	自主	委託	合計	平均工賃
平成29年度	367,125	1,063,810	0	1,430,935	9,019
平成30年度	119,016	839,305	0	958,321	11,164
令和元年度	77,664	394,346	0	472,010	11,023
令和2年度	124,850	550,373	0	675,223	9,666
令和3年度	750,970	147,950	0	898,920	5,699



・就労継続支援B型

(単位：円)

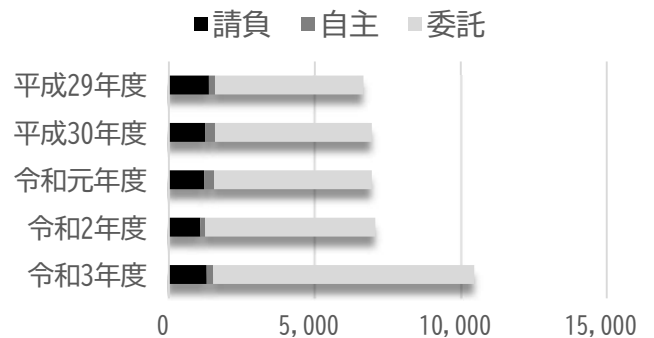
	請負	自主	委託	合計	平均工賃
平成29年度	1,303,648	958,814	7,274,880	9,537,342	15,771
平成30年度	1,814,246	762,812	7,464,960	10,042,018	17,946
令和元年度	1,523,880	1,160,524	7,828,380	10,512,784	17,075
令和2年度	1,443,639	1,622,680	8,054,530	11,120,849	18,063
令和3年度	1,347,698	2,159,800	8,093,800	11,601,298	19,685



<ジョイナスさかえ>

(単位：円)

	請負	自主	委託	合計	平均工賃
平成29年度	1,377,274	199,466	5,098,298	6,675,038	11,069
平成30年度	1,246,331	333,067	5,378,412	6,957,810	12,463
令和元年度	1,209,445	345,313	5,403,619	6,958,377	11,961
令和2年度	1,074,287	162,421	5,838,593	7,075,301	14,396
令和3年度	1,267,665	250,302	8,948,479	10,466,446	20,073

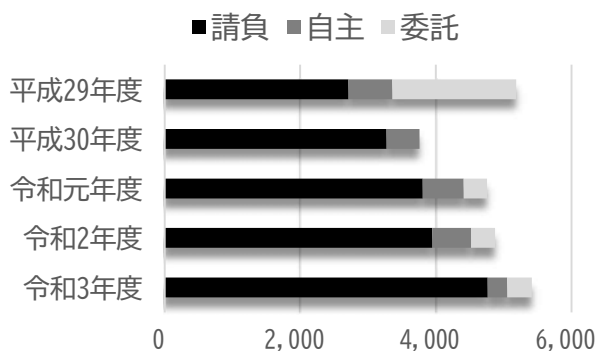


※ジョイナスさかえ西山公園は、令和3年度より従たる事業所を廃止し施設外就労となりました。

<ジョイナスふれあい・みさと>

(単位：円)

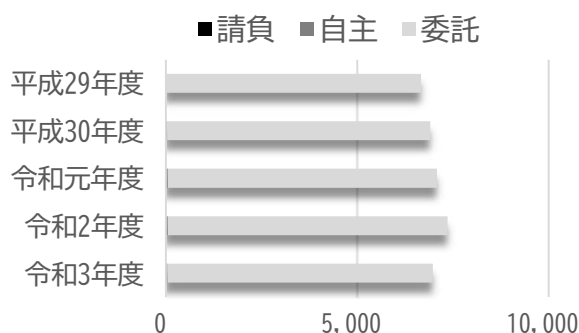
	請負	自主	委託	合計	平均工賃
平成29年度	2,712,307	647,745	1,825,129	5,185,181	9,924
平成30年度	3,272,292	487,942	0	3,760,234	7,965
令和元年度	3,809,392	601,815	343,878	4,755,085	8,519
令和2年度	3,948,623	619,395	355,844	4,876,582	10,960
令和3年度	4,791,695	276,960	363,177	5,431,832	13,908



<鞍ヶ池公園>

(単位：円)

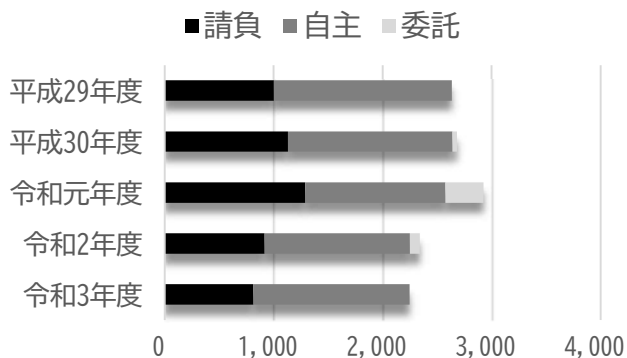
	請負	自主	委託	合計	平均工賃
平成29年度	0	0	6,666,353	6,666,353	25,390
平成30年度	0	36,940	6,871,050	6,907,990	27,487
令和元年度	0	49,700	7,038,748	7,088,448	28,878
令和2年度	0	49,680	7,309,627	7,359,307	29,490
令和3年度	990	45,920	6,933,210	6,980,120	28,085



<ジョイナスえかく>

(単位：円)

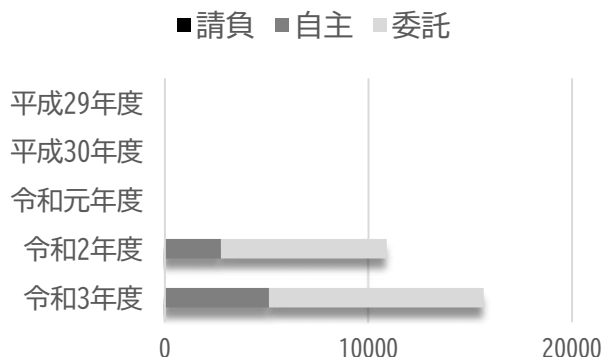
	請負	自主	委託	合計	平均工賃
平成29年度	1,001,264	1,633,779	0	2,635,043	6,477
平成30年度	1,131,277	1,511,575	39,000	2,681,852	7,283
令和元年度	1,289,412	1,288,548	350,428	2,928,388	7,248
令和2年度	916,421	1,345,657	90,940	2,353,018	10,751
令和3年度	987,531	1,247,518	0	2,235,049	11,821



<ジョイナスかずえ>

(単位：円)

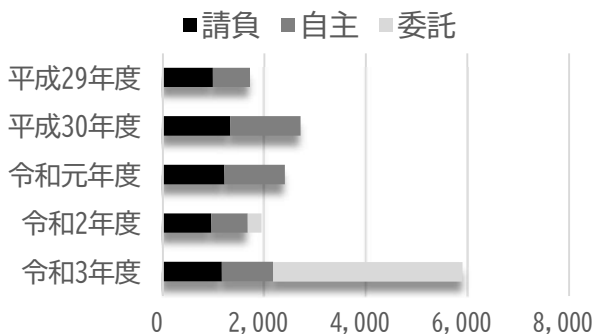
	請負	自主	委託	合計	平均工賃
平成29年度	0	0	0	0	0
平成30年度	0	0	0	0	0
令和元年度	0	0	0	0	0
令和2年度	0	2,740,640	8,140,000	10,880,640	16,980
令和3年度	0	5,222,772	10,534,700	15,757,472	25,818



<ジョイナスたかおか>

(単位：円)

	請負	自主	委託	合計	平均工賃
平成29年度	983,142	733,126	0	1,716,268	7,346
平成30年度	1,325,846	1,387,833	0	2,713,679	8,136
令和元年度	1,210,499	1,192,368	0	2,402,867	10,413
令和2年度	956,186	717,084	269,410	1,942,680	11,153
令和3年度	1,162,726	1,007,173	3,732,692	5,902,591	20,586



※ジョイナスたかおか毘森公園は、令和3年度より従たる事業所を廃止し施設外就労となりました。

(16) その他の活動

開催名	開催日	主催者	参加事業所等
ガーデニングフェスタ	4月24日～ 5月2日	とよたガーデニングフェスタ実行委員会	さかえ・鞍ヶ池公園
美里ふれあいフェスタ	10月21日 10月22日	美里交流館	みさと(ふれあい)
合同避難訓練	10月26日	こども発達センターおひさま	かずえ・地域医療センター職員
ワークショップ (手形アート)	8月11日 11月24日 1月27日	加藤様	かずえ
ひまわりプロジェクト	6月～8月	トヨタファーム	つかさ・たかおか



ジョイナスつかさ <就労移行支援・就労継続支援 B 型>

1 定員・利用人数推移

【就労移行】

定員=6名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月間平均
登録利用者数	4	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	3	2.9名
開所日数	21	19	22	20	20	20	21	21	20	19	18	22	20.3日
出勤率	85%	96%	89%	93%	95%	89%	90%	86%	90%	81%	69%	85%	79.4%

【就労継続】

定員=26名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月間平均
登録利用者数	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	23	24.8名
開所日数	21	19	22	20	20	20	21	21	20	19	18	22	20.3日
出勤率	94%	93%	92%	93%	93%	91%	92%	90%	92%	90%	89%	93%	92.3%

2 支援業務

(1) 日中活動支援

種 別	活動内容	活動場所
就労移行	施設外就労	福祉センター
	職場開拓	ハローワーク・各企業
	求職登録・申請等	ハローワーク
	面接書類作成等	ジョイナスつかさ
	就労定着支援	各企業
就労継続	請負作業	施設内
	施設外就労	福祉センター
	地域環境美化	周辺自治区
本人委員会 (毎週月曜日)	広報委員会	活動室 2
	弁当委員会	食堂
	KITTO 工房	活動室 1
	運動クラブ	多目的室

(2) 日常生活支援

挨拶や言葉遣いなど社会生活面の支援を実施した。手洗い、手指消毒の声掛け、昼食後の歯磨き指導、身だしなみ、気温に合わせた服装、爪やハンカチの週 1 回チェックなど衛生面の支援及び栄養指導や 1 日 2 回検温など健康面の支援を実施した。

(3) 余暇活動支援（行事・旅行等）

余暇活動の種類	時期・回数
誕生日会	毎月第4月曜日・11回 (3月は該当者なしで未実施)
七夕会	7月5日
クリスマス会	12月20日
成人を祝う会	1月17日
節分豆まき	2月7日
お楽しみ会	3月28日
外食体験	7月14日、16日、20日
障がい者作品展見学	12月7日、9日、10日
就職者お祝い会	4月12日、12月20日

3 実習実績（延べ人数）

【就労移行】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
企業実習				5	3	8							16名
企業面接				1									1名
職場就労体験													0名

【就労継続】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
企業実習											1		1名
企業面接													名

4 ボランティアの受入れ

6月9日	地区民生児童委員さんの草刈り
9月8日	地区民生児童委員さんの草刈り
5月10日、7月12日、11月8日、1月7日	後藤様、喫茶キートスお菓子作り

5 社会貢献活動

活動名	活動時期	活動内容
地域のゴミ拾い	4月～3月	1時間かけて地域を回り、燃えるゴミ・ペットボトル・空き缶等を回収



安心 夢 笑顔

6 まとめ

(1) 重点目標結果

<就労移行支援>

① 地域と共に誰もが地域社会の一員として参加しやすい地域づくり	達成率	95%
目 標	<p>(1)つかさファームでの作業や納品、買い出しなど地域に出かけることで地域を知る機会を提供し、地域住民の方との関わりを深めます。</p> <p>(2)施設内の作業や企業実習、職場定着の支援の様子について、敷地内に設置した掲示板やブログ、インスタグラムで情報を発信します。</p> <p>(3)地域での生活につながるよう、面接会や実習に積極的に参加し、企業への就労を目指します。</p>	
結 果	<p>(1)つかさファームでの作業がある日には利用者さん 2~3 名が参加した。納品や買い出しに利用者さんも一緒に出掛けることができている。11月から月に1回、朝日ヶ丘交流館でバザーを開催し地域の方々と関わる機会が増えた。</p> <p>(2)1月に掲示板を地域住民の目につきやすい位置に設置した。3ヶ月に1回、内容を更新している。ブログやインスタグラムは月2回程度更新し、施設内の行事や一般就労に向けての取り組み、実習の様子などの情報を発信している。</p> <p>(3)面接会は例年より開催数が少なく参加できていない。企業への見学に3名が参加、2名が実習、1名が就労に結びついた。</p>	
② その人らしい生活が営める、個別支援計画等による支援の見える化	達成率	90%
目 標	<p>(1)生活習慣、社会性、作業に関する能力や態度等、客観的な評価を行った上で利用者さんや家族の希望に沿う就職を目指した、あるいは就労意欲の向上につながる個別支援計画を作成します。</p> <p>(2)施設内での軽作業や農作業、施設外就労での清掃作業のほか、調理や接客など様々な作業を体験して適性を見極めるとともに、作業目標の設定や座学を通じて働く意義の理解や働く喜び、やりがいを感じられるよう支援を行い、就労意欲の向上につなげます。</p> <p>(3)家事スキルの向上や通勤訓練など自立した生活を目指した支援を行います。</p>	
結 果	<p>(1)個別支援計画は3ヶ月に1回モニタリングを実施した上で見直しを行った。</p> <p>(2)施設内での部品組付け、旗たたみ、調理、農作業や施設外就労での清掃作業など、利用者さんの適性に合った作業を提供することができた。また、座学は月に3~4回実施し、年間で38回行うことができた。</p> <p>(3)利用者さん1名は弁当委員会の調理や食器洗いに参加して家事スキルが向上した。9月から一般就労した利用者さんは通勤の練習を行い、自力でバスと電車を乗り継いで通勤することが可能になり、マナカのチャージも一人でできるようになった。</p>	
③ 信頼と納得が得られるサービスの質と効率性の確保	達成率	90%
目 標	<p>(1)移行支援利用期間内での企業への一般就労を目指し、それに向けた支援内容の体系化を明示します。</p> <p>(2)法人内外研修への積極的参加や関係機関との連携を深め、支援員の質の向上に繋がります。</p>	

	(3)事業所パンフレットの更新、ハローワークへの月2回定期訪問、他事業所への移行支援利用の働き掛けなどを行って事業所の認知を広め、利用者数を定員まで増やします。
結 果	(1)座学は新しい取り組みを始めたことと、回数を増やしたことで、利用者さんの就労に向けた力の定着と向上につながっている。 (2)外部の研修に職員1名が参加し支援の質の向上につなげることができた。就労移行支援事業所の連絡会議に参加し情報交換ができた。 (3)事業所パンフレットの更新を行った。近隣の中学校を訪問し、育成会全体と事業所のパンフレットを配布、学校の先生と情報交換ができた。事業所の説明会を1校で開催した。

<就労継続B型>

① 地域と共に誰もが地域社会の一員として参加しやすい地域づくり		達成率	80%
目 標	(1)近隣の方にジョイナスつかさのことを知ってもらうために、敷地内に掲示板を設置し情報を発信します。 (2)多くの人にジョイナスつかさのことを知ってもらうためにブログを月2回以上更新するとともに、インスタグラムを活用し情報を発信します。 (3)月に1回、近隣のゴミ拾いを行うことで、地域の環境美化に協力し、利用者さんが地域を知る機会を提供します。		
結 果	(1)敷地内に掲示板を設置した。地域の方々が利用するゴミステーション付近に徒歩で立ち止まって見ていただけるように設置。年明けに設置し、3月に更新した。11月から月に1回朝日ヶ丘交流館でバザーを開催。地域の方々と関わる機会が増えた。 (2)ブログ、インスタグラムの更新は月2回行った。自主製品の宣伝や活動の様子を掲載した。 ゴミ拾いは定期的に行うことは出来ていない。しかし、畑作業や花壇の整備にて、地域の方々に声を掛けていただけるとは度々あった。		
② 自分の意思や権利を主張できる、本人による本人の為の活動の活発化		達成率	80%
目 標	(1)週に1回行っている本人委員会では新たに挑戦したいこと、得意なことに取り組んでいただき、利用者さんの「やってみたい！」を応援します。 一人ひとりが意思表示できるよう工夫をし、朝や帰りの会、本人委員会などの場で、自分の意見を言う機会、また他者の意見を聴いて話し合う機会を提供します。		
結 果	(1)各委員会で利用者さんにできることを積極的に取り組んでもらった。 お弁当委員会：調理の工程で利用者さんの関わりを更に増やした。 キット工房：お菓子作りにて関りを更に増やした。水やりは利用者さん主体で取り組むことができた。 広報委員会：利用者さんと作成した掲示板を設置した。 運動クラブ：音楽に合わせてリボンなどの道具も使い、楽しく体を動かした。 (2)帰りの会では、一人ずつその日頑張ったことを話すように促して、その都度褒めた。本人委員会の活動では、意見を求める際に選択肢を用意し選んでもらうなどした。		

③ 生活の質の向上を目指した工賃の向上	達成率	80%
目 標	<p>(1)利用者さんの特性に合った作業を提供し、また治具を作成することで生産性の向上につなげます。</p> <p>(2)目標の提示方法を利用者さんに合わせて設定することで、働く意欲や喜びにつなげ働く意味の理解につなげます。</p> <p>(3)炊飯の回数を増やすことで、利用者さんの調理スキルの向上と工賃の向上につなげます。</p> <p>(4)土に合った野菜や人気のある野菜を選んで栽培し、生産性を上げます。</p>	
結 果	<p>(1)キクラゲパックのシール貼りでは、治具などの工夫で取り組める利用者さんが増えた。タオルの検品作業でも、新たに取り組める利用者さんが増えた。</p> <p>(2)その日の作業分担を決める際は、特性や得意なことだけではなく、本人からの「やってみたい」という声を尊重し、実際に取り組んでもらった。</p> <p>(3)週2回の定食づくりでの調理を継続した。利用者さんに関わってもらう工程を増やすことを意識した。利用者さんが調理室で活動する時間が増えた。弁当事業を行っている施設の見学をした。</p> <p>(4)畑で収穫した野菜を定食づくりに使用した。長期保存できる里芋や冷凍しても利用しやすい野菜を栽培することで無駄を少なくしている。</p>	



一人ひとりが主人公

ジョイナスさかえ<就労継続支援 B 型>

1 定員・利用人数推移

【ジョイナスさかえ】

定員=20名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月間平均
登録利用者数	19	19	19	19	18	18	18	18	18	17	17	17	18.1名
開所日数	21	19	22	20	20	20	21	21	20	19	18	22	20.3日
出勤率	88%	85%	86%	85%	90%	88%	91%	92%	89%	87%	89%	91%	88.5%

【西山公園】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月間平均
登録利用者数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4.0名
開所日数	21	19	22	20	19	21	21	19	20	20	18	23	20.3日
出勤率	102%	101%	91%	95%	100%	98%	93%	97%	100%	98%	96%	96%	97.1%

2 支援業務

(1) 日中活動支援

種 別	活動内容	活動場所
就労継続	請負作業	施設内
	自主製品作成	施設内
	施設外就労	パルク清掃、西山公園清掃

(2) 日常生活支援

清掃時間での技術向上支援を実施した。昼食後の歯磨き支援及び毎週月曜日の「身だしなみ検査」と、日々の身だしなみ支援を実施。また、利用者会議などを開催し利用者さんの意思決定の支援を行った。

(3) 余暇活動支援（行事・旅行等）

余暇活動の種類	時期・回数
入所式	4月1日
ガーデニングフェスタバザー販売	5月1、2日
お茶・おまんじゅう・スイーツタイム	5月6日、6月22日、9月24日、12月17日、3月8日
西山公園おたのしみ会	5月8日、10月23日、2月16日、
さかえおたのしみ食事会	7月7日、12月28日、3月22日
歯科検診	11月18日
楽楽運動会	11月20日
障がい者作品展鑑賞	12月3日、7日～10日

初詣	1月5、6日
活動タイム	不定期
ウォーキング	不定期

3 実習実績（延べ人数）

なし ※令和3年度より西山公園は施設外就労

4 ボランティアの受入れ

なし

5 社会貢献活動

活動名	活動時期	活動内容
交通安全立哨活動	毎月0(ゼロ)の日、交通安全週間	交通安全の呼びかけ
環境美化活動	月1回	西山公園、ひらしばの家周辺のゴミ拾い

6 まとめ

(1) 重点目標結果

① その人らしい生活が営める、個別支援計画等による支援の見える化		達成率	95%
目 標	(1)利用者さん一人ひとりが安心して生活をおくることができるよう、日々の生活・就労支援の際は、工程表やコミュニケーション手段、評価等にツールや資料を積極的に活用、提供していきます。 (2)スキル表により、利用者さん一人ひとりに必要となるポイントを具体化し、支援に生かしていきます。		
結 果	(1)前日に作業予定を提示することで、利用者さんも見通しが持てるようになり、落ち着いて作業を進められるようになった。ツールを使用した支援も増え、利用者さんが視覚的に理解しやすいように支援をおこなった。 (2)作業スキルの表を作成する。利用者さんの現状の作業スキルを理解することができた。しかし、作業項目ごとの詳細なスキル表の作成には至っていないので、今後も検討していく。		
② 地域と共に誰もが地域社会の一員として参加しやすい地域づくり		達成率	100%
目 標	(1)自主事業のPR活動を通じて、近隣地域の区民会館や他事業所、店舗等との交友を深めていきます。 (2)利用者さんと一緒に花苗を育て、季節に応じた寄せ植えやPOPを製作し、事業所にて店頭販売をおこない、事業所の活動や特色を地域の方に伝えていきます。 (3)毎月の最終週に事業所周辺の環境美化活動(ごみ拾い)を実施し、地域への貢献をしていきます。		

結 果	<p>(1)花苗を区民会館の方が購入し、地域の花壇に植えて下さった。他事業所と連携しPRをおこなうことにより、企業や団体へ花苗の販売に繋げることができた。</p> <p>(2)利用者さんも花苗の生育に携わることにより、地域の方から交流館の花壇の植え付けの話をいただき、令和4年度より活動をおこなうこととなった。</p> <p>(3)冬場の寒冷期も引き続き西山公園自治区の清掃を実施した。</p>	
③ 信頼と納得が得られるサービスの質と効率性の確保	達成率	95%
目 標	<p>(1)職員会議、ケース・支援検討会議を毎月実施し、記録を基に利用者さんのニーズの把握や支援の改善点を話し合い、支援員間で統一した支援の提供を行います。問題点や課題については、評価～終結に至るまで取り組んでいきます。</p> <p>(2)毎月5S活動を実施していき、利用者さんや支援員が日中活動を安心安全に取り組めるような職場環境作りを推進していきます。</p>	
結 果	<p>(1)ケース検討を行う機会を毎月2回設定し、会議で決定した事項を次回の会議の議案の一つに挙げ、経過報告、確認するようにした。職員からも支援の統一を図るための発信の場にも繋がった。</p> <p>(2)全員で取り組むことが難しかったが、取り組める利用者さんと一緒に日々行き届かない箇所の施設内や施設周辺、作業道具などの清掃や整理整頓に取り組んだ。</p>	



一人ひとりが主人公



ジョイナスふれあい<就労継続支援 B 型>

1 定員・利用人数推移

定員=20名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月間平均
登録利用者数	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21.0名
開所日数	21	19	22	20	20	20	21	21	20	17	18	22	20.1日
出勤率	95%	95%	95%	97%	95%	97%	97%	92%	95%	94%	95%	95%	95.1%

2 支援業務

(1) 日中活動支援

種 別	活動内容	活動場所
就労継続	請負作業	作業室
	施設外就労	若園公園、クラフトハートトーカイ
	自主製品製作	作業室

(2) 日常生活支援

コロナ渦での生活が当たり前になり、徹底した消毒、マスクの着用を心がけている。また、昼食時は食堂と作業室の2部屋に分かれて対面にならないよう食事している。
ふれあい独自の「VRふれあい」を行うことで、個別支援計画の目標を明確化し、VRふれあいでもらえるポイント（仮想通貨）を使用して昼食時に使えるスープと交換する機会を設けた。

(3) 余暇活動支援（行事・旅行等）

余暇活動の種類	時期・回数
誕生日会	4月15日、5月19日、6月17日、7月15日、8月10日、9月16日、11月17日、12月14日、1月19日、2月16日（計10回）
お楽しみ会	10月21日・3月16日（計2回）
カレンダー作り	年12回
J&Jカフェ	6月24日、10月28日
買い物体験（事業所内にて）	年1回（2月14日）
外食	実施なし
お花見	実施なし
七夕会	7月7日
障がい者作品展見学	12月10日
クリスマス会	12月24日
年賀状作り	12月28日
初詣	1月4日
節分	2月3日
ひな祭り	3月3日

3 実習実績(延べ人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
屋内実習受け入れ					2	2	2	2				1	9名
屋内実習											1		1名
屋外実習													0名

4 ボランティアの受入れ

なし (2名希望者があったが新型コロナウイルス感染状況に鑑み見送り)

5 社会貢献活動

活動名	活動時期	活動内容
環境美化活動	11月20日※日々の体力作りのウォーキング時にも随時実施	施設周辺のゴミ拾い
交通安全立哨活動	7月16日	交通安全の呼びかけ

6 まとめ

(1) 重点目標結果

① その人らしい生活が営める、個別支援計画等による支援の見える化		達成率	80%
目 標	利用者さん一人ひとりにわかりやすい目標を設定し、「自分は何を頑張るのか」を理解できる構造化や説明、それに向けて、楽しく、わかりやすい支援(TV映像を映し、目で見てわかる内容)を実施していきます。 「VR ふれあい」システムを活用し、目標を達成し得たポイントを昼食時にスープやふりかけを購入したり、自分の欲しい物を購入する事に利用し、楽しく頑張れる「VR ふれあい」を実施します。		
結 果	毎日、VR ふれあいを行う時間を設け、1人ずつ前に出てきて自分の目標の発表、目標がどうだったかを反省し、他者に伝えることもできている。昼食時に飲むスープの販売を行い、自分で貯めたポイント(仮想通貨)で物を買うことの喜びを体験することができた。TVを使用した見える化が未実施のため、来年以降実施につなげていく。		
② 生活の質の向上を目指した工賃の向上		達成率	90%
目 標	(1)ご本人の「頑張りたい! やってみたい!」を尊重し、今まで経験のなかった仕事にも挑戦の場を設け、利用者さんが様々な仕事を担うことができ、達成感の味わえる作業環境を作り、作業の生産性を上げ、工賃の向上を目指していきます。 (2)ふれあいを代表する自主製品、裂き織りを「夢織」としてブランド化した製品を店頭販売・バザー販売のみならずネット販売に広げ、売り上げアップに繋げています。また、製品パンフレットの配布やインスタグラムの更新を定期的に行い、「夢織」を多くの方にPRしていきます。		

結 果	<p>(1)施設外就労に繋がる体験実習を 12 月から実施。(毎週木曜日 2 時間) ふれあい以外での作業内容は利用者さんにとって新鮮で、「楽しい」「やってみたい」という言葉を聞くようになった。R4 年度からは本格的に施設外就労として始めるため、利用者さんの可能性を更に見つけていく。</p> <p>(2)自主製品のブランド化を始動し、新たに「夢織」のタグを作成した。タグは随時商品に取り付けたり、名刺に印刷する等、周知した。SNS やパンフレットの更新は定期的には行うことができなかった。</p>		
③ 自分の意志や権利を主張できる、本人による本人のための活動の活発化	達成率	60%	
目 標	<p>利用者さんが主役になり、満足を得られる場を提供するために、「利用者会議」を年 6 回実施します。発言が難しい方も意見を出すことが出来るよう、資料の準備や、構造化を取り入れ誰もが参加できる会議を行っていきます。また、活動時は、利用者さん一人ひとりの目的に合わせたグループ分けをし、少人数でより活発に活動が出来るようにしていきます。</p>		
結 果	<p>外部で注文するお弁当を会議で決めた。全員が発言することは難しいが、出た意見から多数決で挙手をしてもらい、全員参加できる環境をつくった。意見がなかなか出にくいこともあるため、カード等の道具を用意して、より全員参加の意識を高める必要があった。司会進行なども利用者ができるようにしていく。</p>		



ジョイナスみさと<就労継続支援 B 型>

1 定員・利用人数推移

定員=10名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月間平均
登録利用者数	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10.0名
開所日数	21	19	22	20	20	20	21	21	20	19	18	22	20.3日
出勤率	87%	89%	89%	89%	86%	89%	90%	88%	89%	79%	72%	75%	85.1%

2 支援業務

(1) 日中活動支援

種 別	活動内容	活動場所
就労継続	請負作業	作業室
	施設外就労	若園運動広場
	神池自治区清掃作業	神池団地

(2) 日常生活支援

挨拶の励行、身だしなみ・服装のチェック及び助言を行った。歯磨き・うがい・手洗い・消毒・検温の励行及びチェックと助言を行い衛生面での支援を実施した。また、正しい言葉遣いや交通ルール、食事等マナーへの助言も行っている。

(3) 余暇活動支援（行事・旅行等）

余暇活動の種類	時期・回数
誕生日会	誕生日のある月（7月、9月、11月、12月、3月）
お楽しみ会	誕生日がない月（4～6月、8月、10月、1月、2月）
本人活動	年1回(1月)
花見会	4月7日
七夕会	7月7日
障がい者作品展見学	12月8日
クリスマス会	12月24日
節分	2月3日
買い物体験	2月14日
ひな祭り会	3月3日

3 実習実績(延べ人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
屋内実習			2		1							1	4名
屋外実習													0名

4 ボランティアの受入れ なし

5 社会貢献活動

活動名	活動時期	活動内容
環境美化活動	6月8日、9月21日	神池公園までごみ拾い
交通安全立哨活動	4月20日、5月10日 6月30日、7月20日 8月20日、9月10日 10月20日、11月10日 12月20日、1月21日 2月17日、2月30日	交通安全の呼びかけ (毎月1回0(ゼロ)のつく日)

6 まとめ

(1) 重点目標結果

① 地域と共に誰もが地域社会の一員として参加しやすい地域づくり	達成率	95%
目 標	(1)ジョイナスみさとの活動を紹介するブログの月2回以上の更新および実習生、事業所見学の受け入れを積極的に行い、事業所の周知と利用に繋げていきます。 (2)充実した地域生活に向け、新しい生活様式を意識しつつ自治区行事・交流館行事・バザーへの参加を可能な限り行います。また、行事等の事業所活動の際に近隣の商店を利用するなど、地域の活性化に協力し、地域に溶け込む事業所を目指します。 (3)年2回の環境美化活動、毎月1回の交通安全立哨活動等の社会貢献の場を提供し、地域社会の一員としての自覚を促します。	
結 果	(1)ブログの更新は月2回以上できている。実習生の受け入れと事業所見学も受け入れている。 (2)神池団地清掃作業は予定通り実施できた。道中、地域の方への挨拶も笑顔ででき、団地の方にも挨拶ができています。10月には美里交流館主催「美里ふれあいフェスタ」に参加し地域の方ともふれあうことができた。 (3)交通安全立哨活動は、毎月1回0(ゼロ)のつく日に行っている。交通安全の大切さ、交通ルールを守ることの重要性を学習している。	
② 自分の意思や権利を主張できる、本人による本人の為の活動の活発化	達成率	90%
目 標	(1)日々の生活の中での順番や約束事は、利用者さん本人が自分の意思を伝え、また他者の意見を聴くことで決めることができるように機会を提供し、支援や助言を行い自己決定ができるようにしていきます。 (2)イベントや行事を行う時は、利用者さんと一緒に内容を考え「やってみたい」という意欲と気持ちを大切に、「自分たちで決めて行動する」楽しみや喜びを体験していただくことで利用者さん自らが事業所運営の主体となっていく意識づけをしていきます。	

結 果	(1)物を取りに行く順番や CD をかける順番などは、利用者さんの中で話し合い、ルールを守って決めていただいている。話し合いで決まらない時は、じゃんけんで決めていただいている。 (2)イベントや何かをしていただくときは、まず、自分から手を上げていただくようにしている。手があがらない時や、迷っているような方には助言を行い、待つようにしている。	
③ 生活の質の向上を目指した工賃の向上	達成率	95%
目 標	(1)利用者さんが自らの意思で働く喜びを実感できるように、毎月の事業所の売り上げ金額をわかりやすいグラフにして表示し、毎月初に何をがんばるか、自分は何ができるのか等の話し合いの場を作り、皆で連携して働く意欲を高め、前年比売り上げ1割アップを目指します。 (2)VR ふれあいシステム（目標に対する頑張りが見える化【換金】し、貯蓄を行い、適宜預金を引き出して好きなもの、欲しいものを購入する社会疑似体験）を通じて、社会の仕組みやお金の大切さを学び、働いて得た工賃の使い方を考えることで、一人ひとりの仕事に対する意識を高め、全員が工賃アップを目指します。 (3)みさと独自の自主製品を作り、バザーに「みさと謹製」製品を出します。	
結 果	(1)毎月、売上目標を利用者さんと話し合い、クリアできるように意識を高めている。今年度は1年を通して売上目標を達成できた。利用者さんたちにとっても、相当な自信となっている。 (2)VR ふれあいを実施することで、利用者さんそれぞれの目標が明確になり、意欲につながっている。結果的に工賃アップにつながっている。 (3)美里交流館主催の「美里ふれあいフェスタ」のバザーにも出店し、売上目標の1万円を大幅にクリアできた。	



一人ひとりが主人公



ジョイナスふれあい 鞍ヶ池公園 <就労継続支援 B 型>

1 定員・利用人数推移

定員=10名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月間平均
登録利用者数	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10.0名
開所日数	21	19	22	20	20	20	21	21	20	19	18	22	20.3日
出勤率	100%	97%	98%	97%	97%	96%	100%	99%	98%	97%	96%	98%	97.6%

2 支援業務

(1) 日中活動支援

種別	活動内容	活動場所
就労継続	清掃、除草、ゴミ拾い、溝掃除	公園内全体
	清掃	豊田市動物愛護センター

(2) 日常生活支援

昼食後の歯磨きは習慣化しており、自主的に行えている。作業着の着用時、利用者同士お互いに襟や裾等身なりを整えることができている。作業後や食事前は、手洗いの声掛けをして衛生面に配慮している。職員から利用者へ挨拶をすることで挨拶の習慣を身につけていただけるよう取り組んでいる。また来園者への挨拶もその都度タイミングや距離感などを説明して、気持ちの良い挨拶ができるよう努めている。お茶の用意や片付けは1週間ずつ当番を決め交代で行っている。

(3) 余暇活動支援（行事・旅行等）

余暇活動の種類	時期・回数
誕生日会	4月、8月、9月、11月、12月、2月
ガーデニングフェスタ出店	4月25日
ハレハレハイキング	5月8日
楽々運動会	11月20日
障がい者作品展見学	12月8日
クリスマス会	12月24日
初詣	1月4日
節分（豆まき）	2月3日
本人活動	月2回程度

3 実習実績(延べ人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実習受入							11	3					14名
屋内実習													0名

4 ボランティアの受入れ

なし

5 社会貢献活動

活動名	活動時期	活動内容
交通安全立哨活動	毎月(10日前後)	交通安全の呼びかけ

6 まとめ

(1) 重点目標結果

① 地域と共に誰もが地域社会の一員として参加しやすい地域づくり	達成率	95%
目 標	<p>(1) ブログの月2回以上の更新と事業所掲示板の作成を通じて事業所の行事・活動や仕事内容の紹介をしていきます。</p> <p>(2) 新しい生活様式のなかで安全を担保しながら地域行事に参加し、自主製品販売やリーフレットの配布をすることで活動内容を地域に発信していきます。また、年2回地域の清掃活動や募金等のボランティア活動に参加し、社会貢献に努めます。新しい生活様式のなかで安全を担保しながら地域行事に参加し、自主製品販売やリーフレットの配布をすることで活動内容を地域に発信していきます。また、年2回地域の清掃活動や募金等のボランティア活動に参加し、社会貢献に努めます。</p> <p>(3) 交通安全立哨活動を月1回行います。</p>	
結 果	<p>(1) ブログは月3回更新できている月もあったが、9月と10月は月1回しか更新ができなかった。</p> <p>(2) 矢並団地のゴミ拾いと鞍ヶ池芝生広場で赤い羽根共同募金を行い、社会貢献に努めることができた。</p> <p>(3) 毎月1回の交通安全立哨活動を継続して行うことができた。交通安全に関する意識とマナー向上の働きかけを行い地域貢献ができた。</p>	
② 自分の意志や権利を主張できる、本人による本人の為の活動の活発化	達成率	95%
目 標	<p>(1) ご本人の興味関心のある活動を実施する「本人活動」を引き続き月2回実施します。</p> <p>(2) 自己選択・自己決定できる力を養うために事業所での活動を主体的に考え、利用者さんの意見が出せる場を年6回設けます。また本人が目標達成することで喜びを感じられ、次のステップへの意欲につながるよう「VRふれあい」を継続していきます。</p>	
結 果	<p>(1) 月2回の本人活動は実施できている。パソコンをジョイナスふれあいから借りることができ、興味を持って取り組みたいと希望する方もおり、ローマ字入力の学習から始めている。また、自分の好きなキャラクターの検索をしている方はプリントアウトの方法を覚えるなど新しい技術を身に付けることができている。</p> <p>(2) クリスマス会、VRの景品、来年度の行事に関することなどを話し合い、職員が計画する行事ではなく、自分たちから「〇〇がやりたい」と意見が出るようになった。VRは目標を意識して取り組むことができ、自分から反省や目標達成に対する意</p>	

	欲を言葉にしたり、態度で示す人もいる。時間内に来られない方はポイントを付けないようにし時間を守ることを学び、両替を通じて金銭の学習にもつながっている。	
③ 信頼と納得が得られるサービスの質と効率性の確保	達成率	85%
目 標	<p>(1)利用者さんが自立するためのスキルアップができるよう事業所内のミニケース検討会議を月1回行います。</p> <p>(2)利用者さんの目的に合わせたスキルアップができるように1人1回以上他事業所への実習機会を設けます。</p> <p>(3)利用者さんにわかりやすい工程表と担当表を作成し、作業の質と効率性が向上するように進めていきます。また利用者さん個々の強みを生かせる仕事の提供をしていきます。</p>	
結 果	<p>(1)職員同士でどんな支援をしたことでどのような変化があったか、態度や口調、話し方などを変えて改善された点、改善されなかった点を話し合い、今後の支援の参考にした。</p> <p>(2)目標を持って6名の実習をジョイナスふれあいで行った。普段行わない作業を体験するだけでなく、挨拶や連絡・報告などの日常生活に必要な事柄について気づきにつながった。</p> <p>(3)愛護センターの掃除では、個別支援計画で時間配分や報告をリーダーの役割として目標にした利用者があり、他の利用者も同じように行うようになった。時計を読む人、針の位置で時間を把握する人とまちまちであったが、「リーダーが時間を確認し、指示を出す」ことができるようになり、利用者主体で掃除を進めることが習慣になりつつある。また、今まで職員が決めていた掃除の担当も「愛護センターではいろいろな仕事ができるように」と伝えると、いろいろな作業に携われるよう利用者がローテーションを決めるようになり、工程表や担当表が不要になった。経験の長い人が他の利用者に掃除の仕方を教える姿もみられる。</p>	



一人ひとりが主人公

ジョイナスえかく＜就労継続支援 B 型＞

1 定員・利用人数推移

定員=10名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月間平均
登録利用者数	11	11	11	11	11	11	10	10	10	9	10	10	10.4名
開所日数	21	19	22	20	20	20	21	21	20	19	18	20	20.1日
出勤率	81%	85%	90%	87%	90%	92%	92%	91%	98%	86%	80%	78%	87.6%

2 支援業務

(1) 日中活動支援

種 別	活動内容	活動場所
就労継続	受託作業	作業室
	施設外就労	若園運動広場、豊田市こども発達センターおひさま、豊田市立南部休日救急内科診療所
	自主製品作り	作業室、活動室
	納品・集金 バザー	委託店 コロナ感染拡大防止の為、委託販売

(2) 日常生活支援

毎朝の手洗い方法をお伝えし「30秒手洗い」を実施した。毎日行うことで手洗いが習慣化している。また、感染対策として作業後と食事前の手洗い消毒の声掛けも行った。日常使う言葉（挨拶、質問、報告）を毎朝練習し、必要時には声掛けを行った。パターン化している場面では身に付いてきている。毎食後、歯磨きをしていただくよう声掛けをして歯磨きの習慣がない方も自分から歯を磨くようになった。朝の会時に身だしなみの確認・声掛けをした。自身の身だしなみでどの箇所が整っていないか等、自覚される方も増えてきた。毎日、掃除の時間に掃除の仕方の手本を示し声掛けしながら行った。掃除の流れや道具の使い方などまだまだ支援が必要と感じることが多かった。

(3) 余暇活動支援（行事・旅行等）

余暇活動の種類	時期・回数
誕生日会	誕生者のある月 8回
端午の節句	4月28日
七夕会	7月7日
初詣	1月26日
節分	2月3日
ひなまつり	3月3日
お別れ会	9月30日、12月28日

3 実習実績（延べ人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
屋内実習		2					3						5名

4 ボランティアの受入れ

なし

5 社会貢献活動

活動名	活動時期	活動内容
交通安全立哨	5月28日	トヨタ自動車上郷工場前で交通安全の呼びかけ
地域のごみ拾い	5月20日、8月10日、 1月26日	永覚駅周辺、高架下のごみ拾い
地域奉仕活動	12月27日	事業所周辺草取り

6 まとめ

(1) 重点目標結果

① その人らしい生活が営める、個別支援計画等による支援の見える化	達成率	75%
目 標	<p>(1)利用者さんのニーズが引き出せるようにアセスメント技術（個々の特性に合わせた聴き取り）を高めていきます。普段から、利用者さんや保護者の方とコミュニケーションをとり話しやすい環境づくりを行っていきます。</p> <p>(2)支援の構造化を行い、個々に合わせた個別支援に取り組みます。年2回モニタリングを実施して支援の進捗状況を確認し個々に合った目標かをしっかり見極めていきます。</p>	
結 果	<p>(1)利用者さん個々にあったコミュニケーション手法（2択、視覚、ジェスチャー）を使い、お気持ちを聴くことができた。来期の個別支援計画書に反映することもできた。</p> <p>保護者の方と関わりが持てるよう、また、利用者さんの活動の様子を知っていただけるように、保護者会後（1ヶ月に1回）に事業所参観の時間を設けていくように事業所で決め、保護者の方にお伝えした。</p> <p>(2)半期モニタリングで見直した目標を、利用者さんが理解し前向きに取り組めるように都度支援方法を工夫しながら行った。達成とまでは行かないが、利用者さんそれぞれ変化が見られている。</p> <p>（作業に集中できるようになった、報告できるようになったなど）</p>	

② 地域と共に誰もが地域社会の一員として参加しやすい地域づくり	達成率	60%
目 標	<p>(1)活動（仕事、バザー、立哨活動、ゴミ拾い等）を通して地域の方との関りを増やし関係作りをしていきます。</p> <p>(2)事業所の広報誌を作成し地域への回覧や交流館へ掲示（年二回）、SNS 等で事業所の情報を発信して「ジョイナスえかく」を地域の方により多く知っていただく機会をつくれます。</p>	
結 果	<p>(1)ごみ拾い1回、草取り1回行い、草取りは区長さんから感謝の言葉がいただけた。コロナ渦の為、バザー等の参加は難しかったが、来年度の末野原交流館縁 joy サロンに向け、参加の意向を示し、交流館や参加者の方と打ち合わせ（顔合わせ）を行った。</p> <p>枳塚地区の方からごみ袋内職作業をいただき、来年度の継続や周辺地域へも「ジョイナスえかく」についてお話しし、地域に認知していただく機会を作っていたいただけた。オフィスきらりと「SDGs ガチャ」へ入れる商品の開発を行っており、地域文化広場やホームックス事務所に置く計画を立てている。</p> <p>地域施設（上郷交流館）を活用した避難訓練が行えるように上郷交流館に訪問し、交流館の方にジョイナスえかくはどのような方が居るかなどお伝えし知っていただける機会を設けることができた。</p> <p>(2)Instagramで活動の様子や自主製品の情報発信を行った。末野原中学校、上郷中学校に訪問し、事業所のPRを行い、事業所の活動内容を伝えたり、入所するにはどのようなスキルが必要かなどの情報交換ができた。</p>	
③ 生活の質の向上を目指した工賃の向上	達成率	80%
目 標	<p>(1)様々な方法（地域の方、インターネット、他事業所見学等）で情報収集をして新たな作業を取り入れ挑戦していただく機会をつくれます。経験を重ねることで、利用者さん個々の能力を伸ばし生活の質の向上に繋げていきます。</p> <p>(2)支援員が利用者さんの特性を知る事で個々の能力にあった作業の提供をしていきます。また必要に応じて作業工程の細分化、治具等開発を行い作業の効率化や工賃向上に繋げていきます。</p>	
結 果	<p>(1)農家さんからほうれん草作業や種まき作業、トヨタ自動車㈱さんからはキャリアパーカー、地域の方からゴミ袋作業を受注し、適材適所を見極め個々に合わせた支援を行った。回数を重ねることで作業効率UPや「できた」に繋げることができた。</p> <p>(2)様々な作業に取り組んでいく中で、利用者さんは何ができるのか、得意なのかを目標工賃達成指導員が中心となり見極めを行い、作業の効率化に繋げる事や作業に携われる方を増やすことができた。種まき作業での土の穴あけは深さの感覚を掴むことが難しかったが治具を作成し、完成度を高める事ができた。</p>	



ジョイナスかずえ<就労継続支援 B 型>

1 定員・利用人数推移

定員=10名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月間平均
登録利用者数	8	8	8	8	9	9	9	9	9	9	8	8	8.5名
開所日数	20	20	20	20	20	20	21	21	20	19	18	17	19.7名
出勤率	99%	99%	98%	99%	92%	90%	98%	98%	96%	97%	88%	77%	94.7%

2 支援業務

(1) 日中活動支援

種別	活動内容	活動場所
就労継続	清掃業務	発達センターおひさま、診療所
	喫茶業務	Café Mikke

(2) 日常生活支援

Cafe Mikke では朝礼時に挨拶の練習を行い、かずえ清掃の利用者さんは毎朝おひさまの職員さんに挨拶をしている。かずえ清掃の利用者さんは職員の方に限らず、おひさま利用者の方にも自発的に挨拶ができるようになってきている。朝の会時、身だしなみの確認をし個別で声掛けをしている。都度、お客さんや来訪者がある際は身だしなみチェックをするよう声掛け、少しずつ身に付いている。お買い物体験をする日を設け、買い物をする楽しみやお金の使い方を練習する機会となっている。

(3) 余暇活動支援（行事・旅行等）

余暇活動の種類	時期・回数
誕生日会	誕生日のある月 計6回
みっけの日（café ランチの日）	カレンダーで3のつく日 計37回
買い物学習	給料日 計12回
端午の節句	4月28日
七夕会	7月7日
お楽しみ会	10月14日
初詣	1月26日
節分	2月3日
ひなまつり	3月3日
お別れ会	9月30日、12月28日

3 実習実績（延べ人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
屋内実習			7					5		5			17名

4 ボランティアの受入れ なし

5 社会貢献活動

活動名	活動時期	活動内容
地域のごみ拾い	4月1日、9月2日、 1月26日、3月28日	かずえ周辺国道沿い

6 まとめ

(1) 重点目標結果

① 地域と共に誰もが地域社会の一員として参加しやすい地域づくり	達成率	50%
<p>目 標</p> <p>(1)実際に働いている姿（喫茶・清掃）や事業所内行事等の活動を見てもらい、Instagramで日々の利用者さんの様子などをこまめに発信することで、施設の魅力を伝えファンを増やしていきます。</p> <p>(2)地域の人たちの活動の場を作り、またそれを楽しんでもらう人たちが集う場にしていきます。（活動とは音楽、人形劇、読み聞かせ、ハンドメイド（WS）、お菓子作り、子育てサークルなど）</p> <p>(3)多世代が交流し、互いに支え合える地域を目指し、みんなの「居場所」づくりをしていきます。（発達センターおひさまご利用の親子や、子育てサークル、地域の人などが同じ空間を共有することで安心感やつながりが生まれると考えます）</p>		
<p>結 果</p> <p>(1)喫茶は常連の方が利用者さんの名前を覚えて、利用者さんに会いに来てくださるようになった。チラシをポスティングし、チラシを見た地域の方が来店して下さった。おひさま利用者のお客様も増えている。清掃は施設を利用される方が気持ちよく使っていただけるように心掛けながら毎日清掃を行った。「いつもありがとう」と声を掛けてくださる方もいた。喫茶・清掃の活動の様子をInstagramやブログを通して発信した。</p> <p>(2)地域の方が活動する場を3回提供することができた（子育て世代ターゲットのワークショップ）。</p> <p>(3)おひさま利用者や地域の高齢の方が定期的に来てくださり集いの場となっている。</p>		
② 信頼と納得が得られるサービスの質と効率性の確保	達成率	80%
<p>目 標</p> <p>(1)毎日の検温、健康面や衛生面のチェックをし、みんなが健康で安心して過ごせるようにしていきます。</p> <p>(2)喫茶：お客さんの満足度を上げるため、練習と実践を繰り返し、あいさつや接客技術の向上につなげていきます。</p> <p>清掃：清掃技術を向上させるため、清掃方法を統一しマニュアル化していきます。</p> <p>(3)毎朝、朝礼は全員揃って報連相を行い、その他でもこまめにコミュニケーションを取るようにします。利用者さんの長所に気づき、皆で情報を共有し褒める支援を心がけていきます。</p>		

結 果	<p>(1)毎日2回の検温と感染予防の為、手洗い時間を設けた。喫茶はチェック表を活用した身嗜みチェックや手洗い指導（消毒）、清掃は手洗い指導や消毒を日々お伝えした。</p> <p>(2)喫茶：毎朝、挨拶や接客の練習を行う時間を設けている。練習時はしっかり声を出すことができている。</p> <p>清掃：清掃方法をマニュアル化し、統一した支援を行えるようにしている。また、改善点は都度話し合いを行い実施している。</p> <p>(3)喫茶：毎朝朝礼を行い、お店や利用者さんの業務連絡を行って情報共有している。利用者さんの「できた」を大切に、スタッフ全体で褒める支援を行っている。</p> <p>清掃：職員間(シルバー含む)の業務連絡は連絡ノートを活用し行っている。掃除が丁寧に行えた際や集中できた際は都度声掛けし褒める支援を心掛けている。</p>	
③ 生活の質の向上を目指した工賃の向上	達成率	80%
目 標	<p>(1)個々の能力に合った作業の提供を行い、前向きに作業に取り組めるように支援（励ましや褒めるなど前向きな声かけ）することで作業の効率化や工賃向上につなげていきます。</p> <p>(2)お客様のニーズに沿ったメニュー作りや商品の品揃え（自主製品や委託商品）を工夫します。また、ワークショップやマルシェなどイベントをお店で行うことで集客力を上げ売上アップにつなげていきます。</p>	
結 果	<p>(1)全職員が利用者さんの能力・特性を理解しており、個々にあった作業提供をしている。また少し工夫したらできることは治具を作成したり、支援方法を工夫している。少しずつできることが増え、利用者さん一人ひとりの作業の幅が広がっている。</p> <p>(2)お客様満足度向上や店内で改善する点をアンケート調査行った。料理の味付けの改善を一部行った。お客様の関心を持っていただけるよう、月替わりメニューの開発やデザートメニューの開発を経験のあるスタッフ中心に行っている。商品棚はジョイナス製品コーナーを設けたり、焼き菓子等は新たに Mikke キャラクターのクッキーを陳列した。陳列棚に関心を持ち購入してくださる方も増えた。地域の交流館（つなぐカフェ）でお店の製品を販売する機会を2回設け、関係者の方が来店して下さった。来年度は末野原縁 joy サロン出店の予定もしている。</p>	



ジョイナスたかおか<生活介護>

1 定員・利用人数推移

定員=6名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月間平均
登録利用者数	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	3.7名
開所日数	21	19	22	20	20	20	21	21	20	19	18	22	20.3日
出勤率	100%	100%	98%	93%	96%	98%	100%	96%	98%	98%	82%	100%	96.6%

2 支援業務

(1) 日中活動支援

種別	活動内容	活動場所
生活介護	創作活動	活動室
	運動タイム	活動室
	余暇	活動室
	散歩	事業所近隣
	調理実習	調理室

(2) 日常生活支援

健康管理と感染症予防のためにマスクの着用や手洗い、うがい、歯磨き等の声かけ、見守りを行った。事業所で朝、昼 2 回の検温を行い感染症等の注意喚起や情報提供を行った。食事の準備、片づけ・洗濯、洗濯たたみ等自分の身の回りで必要な家事を自分で行えるよう支援した。

(3) 余暇活動支援（行事・旅行等）

余暇活動の種類	時期・回数
誕生日会	就 B たかおか合同開催当該月（6 回）
お楽しみ会	就 B たかおか合同開催当該月（6 回） 多機能型事業所全体 3 月
買い物実習	8 月（1 回）Café Mikke
七夕会	7 月
鏡開き	1 月
節分	2 月
喫茶会	2 月（Café Mikke テイクアウト）
ハレハレハイキング	5 月
楽楽運動会	11 月



3 送迎管理

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月間平均
通常送迎	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2名

4 受入れ

若林地区民生委員	合同避難訓練（7月）
高齢者クラブ	活動の紹介（10月）
若林地区福祉委員	室内清掃奉仕活動（2月）

5 社会貢献活動

活動名	活動時期	活動内容
集団回収仕分け	週1回	近隣のご家庭、地域のお店、企業等の資源回収した物の仕分け
交通安全立哨活動	毎月交通事故0(ゼロ)の日	立哨活動
環境美化	月に1回(8月と12月を除く)	事業所周辺のごみ拾い
エコキャップ	随時	年2回納入
みどりの郷活動	年2回(5月、11月)	地域の方と農道のゴミ拾い

6 まとめ

(1) 重点目標結果

① 自分の意志や権利を主張出来る、本人による本人のための活動の活発化		達成率	100%
目 標	(1)日頃からご本人の意見や希望に耳を傾け、自分の思いや意見を言いやすい雰囲気を作ります。 (2)利用者さんの好きなこと、得意なこと「調理、絵、習字、歌、工作、内職作業等」ともに見つけ、活動の意欲や自信に繋げ次のステップへ進むことができるような環境作りを行います。		
結 果	(1)送迎時の車内は個人的に話を聞く機会が多くなるのでしっかり傾聴し、職員間や他事業所との情報共有をしっかりと行った。利用者さんの状態によっては就Bと連携し就B作業室での作業訓練を提供した。 (2)調理実習のメニュー決め、役割、皆でやりたい活動、個人的にやりたい活動をそれぞれに聞き、その日の予定や役割をホワイトボードに書き込み見てわかるようにしている。皆がそろそろ時にはカラオケ、個々の活動ではヨガや折り紙を取り入れた。		
② 地域と共に誰もが地域社会の一員として参加しやすい地域づくり		達成率	100%
目 標	(1)民生委員、福祉委員、地域の方々が来所していただいた時には就労継続支援B型の人たちと一緒に活動し、生活介護の認知を深めるようにします。 (2)月1回は自治区の環境美化、交通安全立哨活動を行い、積極的な地域とのかかわりの場や社会貢献の場を提供します。		

結 果	<p>(1)地域の方たちの来所時には2階の生活介護も見学していただき、生活介護のサービス内容、活動も伝えることができた。</p> <p>(2)環境美化は年間で10回行い、道ですれ違う時には利用者さんと共に積極的に挨拶をすることができた。</p>		
③ 信頼と納得が得られる、サービスの質と効率性の確保	達成率	100%	
目 標	<p>(1)毎月の会議、状況に応じて随時生活や作業の様子、変化、気づきを職員間で共有し、一貫したサービスの提供を行うように努めます。</p> <p>(2)個々のペースを大切にし、パーソナルスペースを確保し安心して過ごせる空間を提供します。</p> <p>(3)月1回はサービスガイドラインを振り返る機会を設け、質の高いサービスの提供を目指します。</p>		
結 果	<p>(1)(2)その日の利用者さんの体調やコンディションにより個室や食堂、就B食堂、就B作業室等を利用し安心できる活動場所を確保することができた。状態は就B、生活介護の職員全体で都度情報共有することもできた。</p> <p>(3)職員会等でサービスガイドラインの項目の確認をすることで1年間を通して職員が常に意識することができ、利用者さんに問いかけ決めていただくことが多くなった。</p>		



ジョイナスたかおか＜就労継続支援 B 型＞

1 定員・利用人数推移

【ジョイナスたかおか】

定員=14名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月間平均
登録利用者数	9	9	9	9	9	9	8	8	8	8	8	8	8.5名
開所日数	21	19	22	20	20	20	21	21	20	19	18	22	20.3日
出勤率	99%	99%	100%	98%	97%	99%	99%	100%	96%	96%	99%	91%	97.8%

【毘森公園】

定員=14名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月間平均
登録利用者数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7.0名
開所日数	21	19	22	20	19	21	21	19	20	20	18	23	20.3日
出勤率	98%	99%	99%	99%	96%	99%	97%	98%	100%	96%	96%	98%	98.1%

2 支援業務

(1) 日中活動支援

種別	活動内容	活動場所
就労継続	請負作業	作業室
	施設外就労	若園公園清掃、毘森公園清掃
	自主製品作成	作業室
	自主事業（資源回収）	事業所敷地内倉庫

(2) 日常生活支援

健康管理と感染症予防のためにマスクの着用や手洗い、うがい、歯磨き等の声かけ、見守りを行った。事業所で朝、昼 2 回の検温を行い感染症等の注意喚起や情報提供を行った。また活動室内の感染予防対策を含めた環境整備を行った。挨拶、言葉使い、服装、職場としての協調性等の社会人として必要なマナーが身につくよう事業所内、施設外就労時、に実践しながらで伝えた。作業面、生活面共に自分のことは自分で行えるように声かけ、見守り、動機付け等を行った。

(3) 余暇活動支援（行事・旅行等）

余暇活動の種類	時期・回数
誕生日会	たかおか 該当月(計 6 回)
	毘森公園 該当月(計 5 回)
お楽しみ会	たかおか 該当月(計 6 回)
	毘森公園 該当月(計 2 回)、合同 3 月

買い物実習	たかおか 8月 毘森公園 4月、11月、12月
七夕会	7月
鏡開き	1月
節分	2月
喫茶会	たかおか 2月(Café Mikke テイクアウト)
ハレハレハイキング	5月
楽楽運動会	11月

3 実習実績(延べ人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
買い物実習					9								9名

4 ボランティアの受入れ

若林地区民生委員	合同避難訓練 (7月)
高齢者クラブ交流会	お仕事紹介とミニクイズ (10月)
若林地区福祉委員	室内清掃奉仕活動 (2月)

5 社会貢献活動

活動名	活動時期	活動内容
集団回収	随時	近隣のご家庭、地域のお店、企業等の資源回収
交通安全立哨活動	たかおか 毎月0(ゼロ)の日 毘森公園 毎月1回	立哨活動
環境美化	毘森公園 毎月1回	自治区ゴミ拾い
エコキャップ	随時	年2回納入(累計ポリオワクチン931人分/R4年3月末時点)
みどりの郷活動	たかおか5月、11月	地域の方と農道のゴミ拾い

6 まとめ

(1) 重点目標結果

① 地域と共に誰もが地域社会の一員として参加しやすい地域づくり	達成率	95%
目 標	(1)地域の方がリサイクルステーションや公園を気持ちよく、より活用していただきやすくすることで事業所の存在や活動内容を地域の方に伝えて行きます。 (2)地域生活の実現に向け民生委員、自治区、ブロック会議、近隣施設と情報交換を行い地域との関りを深めていきます。 (3)みどりの郷活動、自治区ゴミ拾い、交通安全立哨活動を行い社会貢献の場を提供します。	

結 果	(1)回収品目、出し方をパネルにして掲示することで、利用される方が何を何処においていいか見てすぐわかるようにすることができた。 (2)民生委員奉仕活動時には合同避難訓練、高齢者クラブ交流会、福祉委員奉仕活動時には実際の仕事を見ていただき、利用者さんの活動を知っていただいた。 (3)昆森公園では月 1 回自治区ゴミ拾い、たかおかではエコキャップ運動を継続した。	
② 自分の意志や権利を主張できる、本人による本人の為の活動の活発化	達成率	90%
目 標	(1)日常の作業や行事の際にご本人が選択、決定する場面を多く提供し、自己実現を支援します。 (2)ご本人の適性を活かした作業の配置を考え提供し褒める機会を多くすることで、ご本人に自信、できたことを実感していただき次への挑戦意欲を高めて行きます。 (3)毎日帰りの会を活用し、気になること、気づいたこと、挑戦してみたいこと等利用者さんたちが自分の意見を言いやすい環境を作り、出された意見は皆で考え、解決、実現していけるようにします。	
結 果	(1)年間4回の利用者会議を開催し行事の内容の一部は利用者さんに決めていただいた。作業では2種類の作業の中から自分のやりたい方を選択し取り組んでいただくことで、自主的に作業を進めることが多くなった。定期的な利用者会議を行うことができなかつたことが次年度への課題となった。 (2)作業量や作業スピードではなくそれぞれの役割を明確にし、できたことに対して評価することで褒める機会を多くした。 (3)朝の会では今日何ができるといいかを確認し、帰りの会では自分は何ができたか、どう思ったか等支援員が問いかけ、自分の思いを皆に伝えていただいた。個々の希望に関してはサービス等利用計画や個別支援計画に一部反映させることができた。	
③ 信頼と納得が得られる、サービスの質と効率化の確保	達成率	90%
目 標	(1)月1回はサービスガイドラインを振り返る機会を設け、質の高いサービスの提供を目指します。 (2)朝の打合せ時、月1回の職員会議にて仕事全般の情報を共有し、新たなニーズや問題があればすぐ取り上げ検討し、変化に敏速に対応していきます。 (3)常に5S活動を意識できるよう、点検表を活用し感染対策を含めた環境美化に努め利用者さんが安全、安心して過ごせる場を提供します。	
結 果	(1)職員会等でサービスガイドラインの項目の確認をすることで1年間を通して職員が常に意識することができ、利用者さんに問いかけ決めていただくことが多くなった。 (2)利用者さんの状況に応じ対応策を共通認識しそれぞれの役割を分担し、職員全体で統一した支援ができた。 (3)感染対策について行うこと、担当者を明確にした。安全点検表の活用が今後の課題となった。	



16 地域支援室(相談支援事業、居宅介護・移動支援事業、共同生活援助事業)

(1) 所在地

事業所名	住所	TEL/FAX	事業形態	営業日	休日
育成会地域生活支援センター	〒471-0831	☎ 77-5611 FAX 77-3557	相談支援	火曜日～土曜日 8:30～17:15	日月祝日 年末年始他
	豊田市司町3-61-1				
育成会ヘルパーステーション	〒471-0831	☎ 77-5611 FAX 77-3557	居宅介護 移動支援	火曜日～土曜日 8:30～17:15	日月祝日 年末年始他
	豊田市司町3-61-1				
グループホームひらしばの家	〒471-0065	77-5056 (FAX共有)	共同生活 援助	月曜日～金曜日 15:30～翌9:00	土日祝日 年末年始他
	豊田市平芝町4-21-1				

(2) 利用者数

	相談支援	居宅介護	移動支援	共同生活援助
延べ利用者数	254名	180名	854名	1188名

(3) 虐待防止

- ・虐待マニュアルの作成
- ・虐待防止及び早期発見のための関係機関との連携調整
- ・虐待防止セルフチェックの活用と研修会の実施
- ・虐待防止委員会の設置（責任者 各管理者）

(4) 相談支援事業（障害児相談支援事業、指定特定相談支援事業）

① サービス等利用計画の策定

- ・ジョイナス利用者、その他育成会会員の契約利用者（約130名）からの依頼により、家庭訪問・三者面談・再アセスメントを障がい福祉サービス事業所と連携し、サービス等利用計画の継続更新策定・変更を（125件）、モニタリング（128件）を実施。

② まとめ

- ・サービス等利用計画策定について、利用者さんやご家族の希望される障がい福祉サービス利用の為、無理のない目標設定により作成している。
- ・個別支援計画等策定部会（毎月）にて、相談支援より連絡・情報等の共有。
- ・相談支援会議を随時、又は、お知らせにて相談支援に関する連絡・事例紹介・情報の共有などを行った。
- ・豊田市地域自立支援協議会の相談支援部会（各ブロックサポート連絡会）へ参加。
- ・相談支援従事者初任者研修参加、外部研修（相談支援に関する研修など）随時参加。
- ・病气入院の回復後、グループホーム（日中支援型）への利用変更や、グループホーム（包括型）の体験利用で、家族以外の暮らしの場での生活体験につなげることができた。

③ 課題

- ・障がい福祉サービス事業所（施設入所・短期入所・移動支援など）の空きがない、支援員の不足、新型コロナウイルス感染症の為福祉サービス利用が休止される等があり、社会資源が限られる中での情報提供や事業所の選択になり、希望するサービス利用ができないことが増え

ている。

- ・本人や保護者の高齢化で急な入院等に関連した問題が増えてきている。介護保険の認定を受けた方の介護サービスの利用についても地域包括支援センターと連携して必要なサービス利用を勧めていく。

※内容については 50 ページに掲載

(5) 居宅介護・移動支援事業（ヘルパーステーション）

① 個別支援計画の策定

- ・新型コロナウイルス感染予防に配慮しながら三者面談を行い、サービス等利用計画を元に利用者さんの意見を尊重しながら、個別支援計画を策定した。

② まとめ

- ・新型コロナウイルス感染予防の為、ヘルパー会議が開催できなかったが、毎月資料配布、ヘルパー個々に連絡をし、統一した支援を提供できるようにした。
- ・新規利用者 2 名(居宅介護 1 名、移動支援 1 名)と契約を結ぶことができた。
- ・新型コロナウイルス感染症の予防対策を取りながら支援を提供し続けることにより、コロナ下での外出時のマナーが身に付いてきている。
- ・男性ヘルパー 1 名が年齢を理由に退職された。

③ 課題

- ・新規ヘルパーの募集を幅広く行っているが、求人の問い合わせすらない状況が続いている。現在、男性ヘルパーが在籍していないため同性介護を必要とする利用者さんを受け入れることができない状況である。現在活動中のヘルパーの年齢も上がってきているので、ヘルパーの確保は男女ともに大きな課題である。

※内容については 52 ページに掲載

(6) 共同生活援助事業（グループホーム）

① 個別支援計画の策定

- ・入居者の方の個別面談を実施。ニーズをお伺いしサービス等利用計画の内容との整合を図り、4 名の個別支援計画を策定した。また、体験入所の方 4 名の個別支援計画も同様に策定を行った(内 1 名入居となる)

② まとめ

- ・引き続き体験利用者を募集、相談支援専門員会議にて利用についての費用等の詳細を示し、体験利用にあたってより具体的な提案を行いやすいようにした。1 階の入居者の退去により、女性利用者の体験利用も行い、1 名の利用があった。
- ・新型コロナウイルス等の感染予防に留意しながら、買い物外出・誕生会・クリスマス会などの行事や、利用者会議・スタッフ会議も実施した。
- ・交通安全立哨活動・ごみ立哨活動などの自治区の活動の際には当番を決め、少人数で参加した。

③ 課題

- ・4 名の方が体験利用をされ 1 名の方の入居に繋がったが、退去者が 1 名あり現在定員割れの状態である。体験利用の募集を継続し、繰り返し利用をしていただくことで入居者の確保につなげるようにしていく。また、課題となっている 356 日体制について情報収集も行っていく。

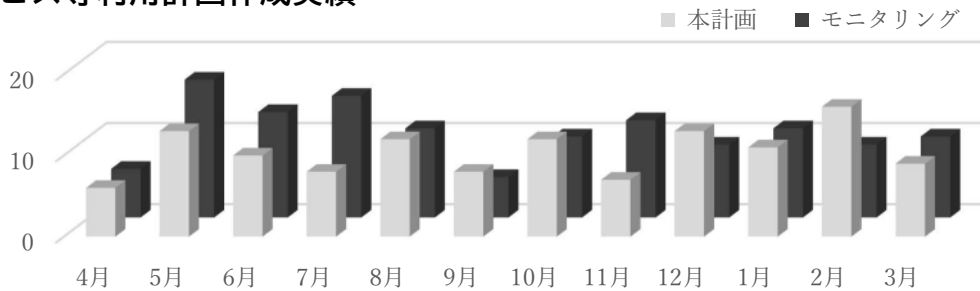
※内容については 54 ページに掲載

地域生活支援センター<相談事業>

1 事業名

- ① 児童福祉法による指定障害相談支援事業
- ② 障害児総合支援法による指定特定相談支援事業
- ③ 相談事業(会員による会員のための相談、日常生活、将来、困り事、知りたい事など)

2 サービス等利用計画作成実績



<単位：件>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
本計画	6	13	10	8	12	8	12	7	13	11	16	9	125
モニタリング	6	17	13	15	11	5	10	12	9	11	9	10	128

(1) サービス等利用計画の策定、モニタリング

ジョイナスの利用者、その他育成会会員の契約利用者からの依頼により、家庭訪問・三者面談・再アセスメントを行い、サービス等利用計画の策定、モニタリングを実施。

(2) まとめ

- ・サービス等利用計画の継続更新作成により必要な福祉サービスについて聞き取りを行い、利用者さんが必要とされる適切なサービス利用の情報を提供していく。
- ・利用者さんの思いや希望をしっかりと聞き取り、目標達成ができるよう支援を行うようにしていく。
- ・福祉サービス利用については、施設入所・短期入所・移動支援等は各事業所の空きが少ない、支援員・世話人・ヘルパーが不足している状況が続いている上に、新型コロナウイルス感染症予防もあり、さらに利用の機会が減少している。
- ・介護保険認定受ける方は、地域包括支援センターに相談し、介護サービスの利用も併せて検討し、介護保険サービス事業所の利用開始に伴い計画相談支援から移行していく。



3 まとめ

(1) 重点目標結果

① 自分の意志や権利を主張できる、本人のための活動の活 発化		達成率	80%
目標	(1)本人やご家族の希望や必要に添った障がい福祉サービスの利用についての相談、申請、変更等の援助 (2)定期的なサービス等利用計画の作成(更新継続)、モニタリング、アセスメントの見直しを行うことにより、必要な障がい福祉サービスの利用ができるようにする 利用計画作成 年間 約 130名 モニタリング年間 約 140回		
結果	(1)障がい福祉サービス事業所、新規開設事業所の情報を提供・共有し必要なサービスの紹介、見学、契約に繋げるようにしている。 ・障がい基礎年金の長年未受給者の申請手続き援助を行い2級の受給決定が決定した ・利用者さんやご家族の病気入院・リハビリ後の回復などにより、生活する為に必要な福祉サービスの利用について検討が必要になることが多くなっている。 (2)定期的なサービス等利用計画の作成(更新継続)、モニタリング、アセスメントの見直しを行っている。 ・利用計画作成 年間 125名 モニタリング 年間 128回		
② 誰もが地域社会の一員として、参加し易いネットワーク づくり		達成率	70%
目標	(1)障がい福祉サービスの利用、事業所の情報提供、紹介、見学等を行い、利用に繋げていく (2)年齢と共に介護保険サービスの利用に関する情報提供を行う 各地域の包括支援センターと連携して介護保険認定、介護保険サービスの事業所に移行していく		
結果	(1)(2)新型コロナ禍で、短期入所・日中短期入所の利用が休止・制限されることが繰り返しあり、新規利用は受入れが中止の為に利用できない事業所もあった。移動支援も公共交通機関の利用や余暇活動の制限があり、今まで以上に利用が減少している。 ・介護保険認定を受け地域包括支援センターに相談・移行し、介護保険サービス利用や障がい福祉サービス事業所の継続利用・GH入居などを検討していく。		
③ 相談支援にかかる職員の資源向上		達成率	70%
目標	(1)相談支援会議に参加し、障がい福祉サービス・福祉事業所についての情報共有をしていく。 (2)サービス等利用計画作成について、各ジョイナスの事例共有、連携強化などを行っていく。 (3)豊田市自立支援協議会の各ブロック相談支援サポート会議、その他研修に随時参加する。		
結果	(1)(2)障がい福祉課から情報や新規開設事業所情報、連絡事項等、相談担当者と情報共有がした。 ・相談支援会議、または、お知らせにて随時情報の共有をしている。 *サービス等利用計画作成に関するエクセルデータ、相談支援・面談等記録用紙の記入方法について、各相談支援担当者で連携し保存方法を決めて統一していくことにした。		

ヘルパーステーション<居宅介護・地域生活支援事業>

1 事業名

- ①介護給付事業(居宅介護事業、重度訪問介護事業)
- ②地域生活支援事業(移動支援事業、相談支援事業)

2 事業別実績

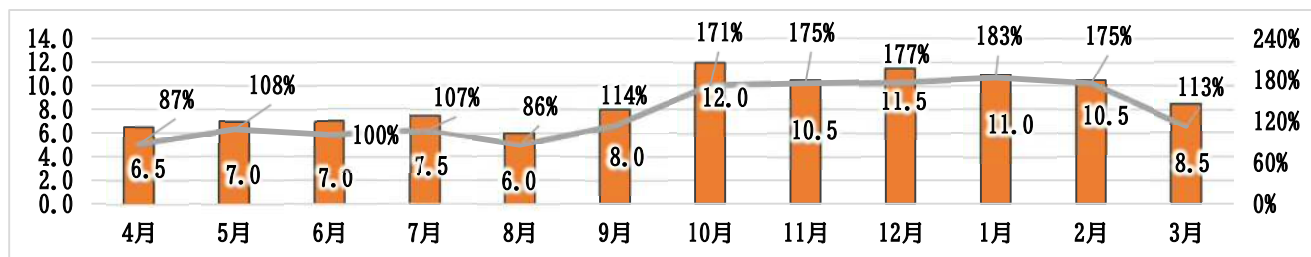
<単位：時間>

【移動支援】	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和3年度実績	164.0	135.5	169.5	169.5	130.5	168.0	185.0	190.0	183.0	177.5	159.0	160.5	1992.0
対前年比	223%	123%	205%	156%	102%	156%	129%	123%	111%	117%	107%	113%	131.4%
令和2年度実績	73.5	110	82.5	108.5	128.0	108	143.5	154.5	164.5	152	148.0	142.5	1515.5



<単位：時間>

【居宅介護】	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和3年度実績	6.5	7.0	7.0	7.5	6.0	8.0	12.0	10.5	11.5	11.0	10.5	8.5	106.0
対前年比	87%	108%	100%	107%	86%	114%	171%	175%	177%	183%	175%	113%	130.9%
令和2年度実績	7.5	6.5	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	6.0	6.5	6.0	6.0	7.5	81.0



3 障がい程度区分利用状況

<単位：名>

障がい程度区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度実績
区分A(内児童数)	14	12	13	11	10	15	15	16	15	15	15	15	166
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分B(内児童数)	4	3	3	3	3	4	4	4	4	4	3	4	43
	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	11
区分C(内児童数)	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	18	15	16	14	13	19	19	21	19	19	18	19	210
	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	11

4 まとめ

(1) 重点目標結果

① 自分の意志や権利を主張できる、本人による本人のための活動の活発化		達成率	90%
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・本人のやりたい事を聞き、それに基づきながらもコロナ下において提供できるサービスをいくつか提案し、本人が選択をした支援を提供していきます。 ・本人が上手く意思を表示難しい場合は、いくつかの選択肢を提案し、本人が自分で決め、自己選択の楽しさと責任を感じられるよう支援をします。 		
結 果	<p>コロナ下での移動支援にも慣れ、コロナ感染状況に合わせて行先等の変更がある事も理解でき、限られた中であるが、自己選択ができるようになってきている。自分で決めたことに責任を持つことも出来るようになってきている。</p>		
② 生活の質の向上を目指したサービスの提供		達成率	85%
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ下の新しい生活様式の中、公共の場でのマナーやルール、感染対策をしっかり学びながら、可能な範囲で余暇活動の提案をし、サービスを提供します。 ・身体介護・生活支援において、本人がやりやすい方法を提案し、繰り返し支援することで、自分で出来る事が増えるように支援します。 		
結 果	<p>コロナ下でのマナーをしっかり学べるように手本を見せたりして支援をすることで、自ら進んでやっている利用者さんが多い。コロナ下で自分なりの移動支援の楽しみ方を確立した利用者さんもいる。</p> <p>身体介護においては毎回繰り返し支援をすることで、出来るようになった事も増えてきたが、特定のヘルパーしかやらないのは課題である。</p>		
③ ヘルパーの資質向上		達成率	60%
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染防止の為、感染対策マニュアルに沿った支援を提供します。 ・ヘルパーひとり一人が利用者のニーズや満足度を把握し、必要に応じて開催される会議や月1回資料配布をはじめ、各種研修会等に参加を促し、資質向上・研鑽に努めます。 ・ヘルパーひとり一人に携帯用アルコール消毒スプレー等を配布し、感染予防に努めます。身体介護においてはフェイスシールドとマスクを着用、消毒等を徹底し感染予防に努めます。 ・パートヘルパーの募集をハローワークやホームページ・ブログ等で発信します。また、在籍しているヘルパーや職員の知人等にも声掛けをして頂き、幅広く募集致します。 		
結 果	<p>ヘルパー自身も感染予防が出来るように、携帯用アルコール消毒スプレーやマスク、マニュアルを配布。身体介護においては、暑くてもマスクとフェイスシールドを着用し、感染予防を徹底している。ヘルパー自身が体調に違和感のある場合に速やかに検査できるよう抗原検査キットを配布した。</p> <p>ヘルパー会議は開催できなかったが、毎月資料を配布したり、各ヘルパ個々に電話やメールをし確認や指導を行った。</p> <p>年齢を理由に登録ヘルパー1名退職。新規ヘルパーに関する応募や問い合わせは無かった。</p>		

ひらしばの家＜共同生活援助＞

1 事業名

共同生活援助事業

2 定員・利用人数推移

定員=6名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月間平均
登録利用者数	4	4	4	5	5	5	5	5	5	4	4	4	4.5名
開所日数	21	18	22	20	19	20	22	20	20	19	18	22	20.1日
出勤率	83%	97%	102%	82%	88%	80%	77%	77%	77%	91%	82%	93%	85.3%

3 支援業務

(1) 個別支援計画の策定

・利用者全員 5名

(2) 日常生活支援

今年度も新型コロナウイルス感染予防の観点から食事時間を二部制にし、密にならないようにした。起床～出勤、帰宅～就寝までの生活について利用者の方一人ひとりの特性に合わせた説明や介助を行い、自立を意識した心地よい生活をおくることができるようにした。また、近隣の店舗での買い物の機会を設け、品物の選択・支払い・帰宅後の保管等を行うことができるようにした。

(3) 余暇活動支援（行事・旅行等）

余暇活動の種類	時期・回数
誕生会	4月、5月、12月、2月 計4回
防災食体験	5月
ハロウィンパーティー	10月
クリスマス会	12月
鏡開き	1月
調理実習	3月
買い物体験	4月、6月、7月、8月、9月、10月、1月、2月、3月 計9回
利用者会議	4月、7月、9月、10月、11月、1月、2月、3月 計8回

4 社会貢献活動

活動名	活動時期	活動内容
交通安全立哨活動	4月7日、7月15日、9月30日、12月9日	交通安全の呼びかけ等
環境美化活動	6月27日、9月19日	近隣の草取り
ゴミ立哨活動	5月5日、8月18日 12月13日	ゴミ収集場所での見守り

5 まとめ

(1) 重点目標結果

① その人らしい生活が営めるサービス等利用計画等による支援の見える化		達成率	90%
目 標	(1)一人ひとりの目標に対する支援計画を共有し、統一した支援ができるようなツールを充実していきます。 (2)目標の進捗状況を職員間で共有し、できたことに対する‘ほめる支援’を意識して行っていきます。		
結 果	(1)支援計画書の説明と支援内容について話し合い、職員全員で促しや支援を統一し、行う曜日をなるべく固定できるようにしたところ、曜日の担当者が積極的に支援を行うことができ、達成度が上がった。チェック表やスケジュール表の作成により、利用者の方・職員ともに目標や支援内容がわかりやすくなった。 (2)うまくいかないときに後ろ向きになってしまう利用者の方への声掛けを工夫し、できていることをほめるようにしたり違うやり方を行ったりしたところ、目標に対して積極的に取り組んでいただけるようになった。		
② 誰もが地域生活の一員として、参加しやすいネットワークづくり		達成率	90%
目 標	(1)自治区の立哨活動への参加を継続していきます。 (2)徒歩で行ける距離にある社会資源を利用者の方と一緒に調べ、必要に応じて利用したり、買い物に出かけることができるようにしていきます。		
結 果	(1)年4回の交通安全立哨活動、3回のゴミ立哨活動、2回の環境美化活動に参加した。前年度までは美化活動以外は全員で参加していたが、今年度は2名ずつ交代で行い、参加する責任を意識できるようにした。参加当番の方は5分前に準備し、遅れずに現地へ行くことができた。また、立哨の際にご近所の方から労いの声をかけていただけた。 (2)近所のスーパーへ定期的買い物に出かけるようにしたところ、店舗の方と顔見知りになり、支払いの際に小銭を数える助言をしていただけるようになった。		
③ 生活の質の向上を目指したサービスの提供		達成率	90%
目 標	(1)新たに体験入所のサービス提供を行い、初めてグループホームを利用される方に自立した生活を体験していただき、入居者の確保につなげていきます。 (2)身の回りのことだけでなく、一人で生活していくために必要なスキルをご本人が自覚し、習得できるようにしていきます。(居心地の良い部屋の保持、季節に応じた衣類の選択、電化製品・調理器具の使用、買い物等)		
結 果	(1)4名の方が体験入所をされ、5日間程度グループホームで生活をおくられた。ほとんどの方がご自宅以外での生活は初めてであったが、利用期間中にスケジュールや行うことを覚えられ、他の利用者の方と仲良く過ごすことができた。1名の方が入居された。 (2)毎日の天気予報で気温や季節の移り変わりを話題にするとともに、必要に応じて天気・気温・服装の記入表を準備することで、衣類や室温への意識が高まった。食事		

の準備際に必要な電化製品の使用方法等について説明を行うことにより、買い物で購入した食品(冷蔵すべきもの)を冷蔵庫の所定の場所にしまったり、朝食の際にオーブントースターでパンを焼くことができるようになった。買い物については②-(2)のとおり。



豊田市育成会の誓い

社会福祉法人豊田市育成会は、運動体と事業体が協力して、本人や家族の地域生活を支えています。

- 1 地域と結び関係団体と連携した活動で、
「安心してすごせる」地域づくり、場づくりをめざします。
- 2 自主的で主体的な活動を保障して、
「夢や願いがかなう」地域づくり、場づくりをめざします。
- 3 主人公として豊かな生活と発達保障をして、
「笑顔が絶えない」楽しい地域づくり、場づくりをめざします。



社会福祉法人豊田市育成会 事業計画策定部会

〒471-0831

愛知県豊田市司町3丁目61番地の1

TEL：0565-77-5611／FAX：0565-77-3557

E-mail：t-ikuseikai@hm.aitai.ne.jp

<https://t-ikuseikai.jp/>

令和4年5月発行